

# 豊岡市立日本・モンゴル民族博物館年報

第 26 号 (2024 年度)



Annual Report of the JAPAN MONGOLIA Folk Museum  
No.26(for the fiscal years of 2024)

## はじめに

2024年度は、日本・モンゴル民族博物館にとって一つの転換期を迎える年となりました。2005年の市町合併以降、市の文化振興部局所管で運営してきましたが、2024年4月以降は、但東振興局地域振興課所管となり、文化施設としての役割に加え、但東の地域づくりのために館を活用することが求められるようになりました。

今後、より地域に親しまれ、多くの人々が気軽に来館いただくようになり、ひいてはこの但東地域の元気につながるような施設になるよう検討を進めていかなければなりません。

昨年、新型コロナウイルス感染症予防のための行動制限が解除されたにも関わらず、来館者が伸び悩んでおりましたが、今年度は、前年度対比 12.3%の来館者の伸びがありました。

今後も、展示内容の検討や魅力的な企画展示の検討に努めるとともに、もっと地域の人々が気楽に来館いただけるような取り組みも検討を進め、但東地域の振興に寄与する博物館として事業展開や情報発信に努めていきたいと思っております。

おわりに、今年度当館の運営にご協力いただいた関係各位に深く感謝申し上げます。

2025年3月31日

日本・モンゴル民族博物館

館長 桑井弘之



# 目 次

I	2024年度概要	3	4	施設管理
II	展覧事業	3	5	外部役員等就任状況
	1 常設展		6	博物館ネットワーク
	2 企画展		7	博物館日誌抄
			8	2023年度来館者アンケート
			9	豊岡市立日本・モンゴル民族博物館の設置及び管理に関する条例
III	資料収集保存事業	11	10	施設概要
	1 資料の貸出		11	交通案内
	2 資料の燻蒸		12	利用案内
IV	普及教育事業	12		
	1 出前授業			
	2 来館受入授業			
	3 体験教室、講座の開催			
	4 イベントの開催			
	5 トライやる・ウィークの受入れ			
	6 情報の発信と公開			
	7 その他			
V	国際交流・他機関等との連携	18		
	1 国際交流			
	2 他機関等との連携			
VI	地域との連携強化	19		
	1 住民アンケートの実施			
	2 「モンゴル博物館に関する住民ワークショップ」の実施			
VII	管理運営	26		
	1 組織・職員			
	2 予算の概要（決算額）			
	3 利用状況			

## I 2024 年度概要

豊岡市の機構改革により、今年度から当館は、観光文化部文化・スポーツ振興課から但東振興局地域振興課へ所管替えとなった。これにより、文化施設としての役割に加えて、但東地域の振興に寄与する施設としての役割が求められるようになった。

そのため、従来からの博物館としての事業に加え、但東の地域振興のための博物館の活用可能性を探るため、全世帯アンケートや住民ワークショップを行い2025年度にわたり2か年かけての検討を進めることとなった。

昨年、新型コロナウイルス感染症予防のための行動制限がなくなったにもかかわらず来館者が伸び悩んでいたが、中学生のミニチュアクリエイターによるミニチュア展や企画展として実施した鉛筆彫刻家による緻密な鉛筆彫刻の展示などが好評で、昨年度に比べ12.3%の来館者の伸びが見られた。

そのような中今年度は、19年飼育したヤギの「さつき」が亡くなるという悲しい出来事もあった。

出前授業(一部来館授業)は、例年どおり豊岡市内の全小学校で実施したが、小学校の統合により実施校数は減少傾向にある。また、近隣の京都府の小学校にも来館授業として活用いただいている。なお、昨年度に三重県の小学校1校と実施したWebによる授業が、今年度は4校に対して実施するなど拡大しつつある。

今年度の「まるごとモンゴルひなまつり」は、会場を6年ぶりに博物館に戻し、3月1日と2日の2日間にわたって開催した。実施空間はどうしても狭くなるが、受付の簡略化、動線の明確化など、スムーズな運営を図ることができた。

また、昨年度の所蔵資料調査が契機となり、国立民族学博物館と当館で「基本協定」を締結することができた。これにより、共同研究、人材交流、施設・資料等の相互利用など活動の充実について可能性が拡大した。

今後は、これまでの博物館としての事業の充実はもとより、国立民族学博物館との「基本協定」に基づく活動の展開や、現在取り組んでいる住民ワークショップなどを通して博物館のあり方を明確化し、但東の地域づくりに資する取り組みの展開を図っていく必要がある。

## II 展覧事業

### 1 常設展

#### (1) 常設展示の構成

博物館の常設展示は、本館の①「たんとうの森」、②「アジアの歴史と風土」、③「モンゴル草原のいのり」、④「モンゴル草原の暮らしと文化」及び伝承文化体験交流館の⑤「豊岡市但東の歴史と暮らし」で構成されている。

- ①たんとうの森・・・人工樹木を配し、平安時代前期の朽木仏像5体を展示
- ②アジアの歴史と風土・・・新石器時代から近代までの歴史資料を展示

- ③モンゴル草原のいのり・・・チベット仏教の寺院を再現し、仏像・仏具などを展示
- ④モンゴル草原の暮らしと文化・・・ゲルと呼ばれる移動式住居を中心に、衣・食・住など様々なテーマに分けて展示
- ⑤豊岡市但東の歴史とくらし・・・山里の暮らしと文化をテーマに、豊岡市但東町の歴史・住まい・暮らし・民話などを展示

## (2) 常設展の更新

常設展については、部分的な展示替えにとどめているが、来館者の動線やイベント時の使いやすさ、不自然な配置の修正等を考慮した配置換えを心掛けている。

現在、収蔵品の調査を計画的に実施しており、すべての収蔵品の調査が終了した段階で、常設展の展示替えを検討したいと考えている。

## (3) 屋外展示

- ① 騎馬像（チンギス・ハーン） 1 体及び馬像 2 体
- ② オボー（複製）  
モンゴルで建てられる精霊の降りてくる目印で、しばしば道しるべや境界標識の役割を兼ねている
- ③ 赤坂古墳群第 1 号墳（復元）  
豊岡市但東町畑 横穴式石室
- ④ 道路元標  
道路の起終点を示す標識で、資母村、高橋村各 1 基を展示
- ⑤ 山羊小屋…屋外の小屋に山羊 1 頭を飼育、公開  
※ 6 月初旬に山羊が死亡し、現在休止中。
- ⑥ 「環界・IV Φ300cm87」  
御影石製彫刻 1988 年、豊岡市但東町畑山出身彫刻家、橋本清孝氏寄贈

## (4) 展示解説の積極的な推進

展示資料をより深く理解いただくため、希望者には職員が館内展示の案内・説明を行っている。利用者の興味や目的に沿った分かりやすい解説を心がけている。

## (5) 体験型博物館の取組み

楽しみながら学べる体験型の施設を目指し、ゲルとその内部に遊牧民の生活空間を再現し、民族衣装の試着、馬頭琴の演奏体験、また夏休み期間には、羊毛フェルトアート教室、ハーバリウム教室なども開催している。

また、企画展に関連したものづくり等のワークショップを年間複数回開催し、子どもを中心に市内外から多くの参加がある。

## 2 企画展

### (1) 第 92 回企画展「鉛筆彫刻人シロイ～直径3ミリからの芯世界～」

会期：2024年7月6日～9月1日 50日間（見学者数1,909人）

身近な文房具を代表する鉛筆。その直径3ミリの細い芯から生まれた細密な作品。本展では、シロイ氏が鉛筆彫刻を始めた初期の作品から、今回のためにモンゴルをモチーフにした新作を含む60点余りを紹介した。



ゲル



馬頭琴

直径3ミリからの  
芯世界



日本・モンゴル民族博物館



芯鮮フルーツ



鉛筆削り



Pencil chain 40

7月6日、8月3日、8月4日の3日、延べ9回のシロイ氏本人による実演会を開催した。来館者の目の前で、顕微鏡をのぞきながら、さまざまな道具を使って彫り上げるその繊細な技術に、多くの人が魅了された。（参加者 201 人）

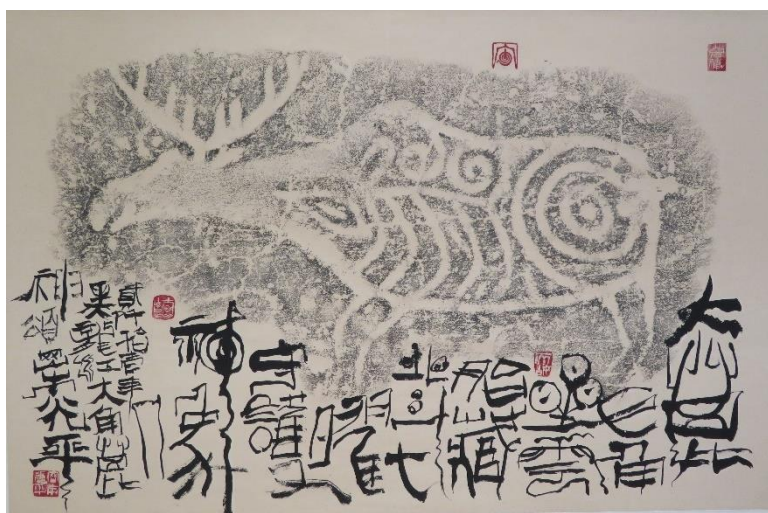
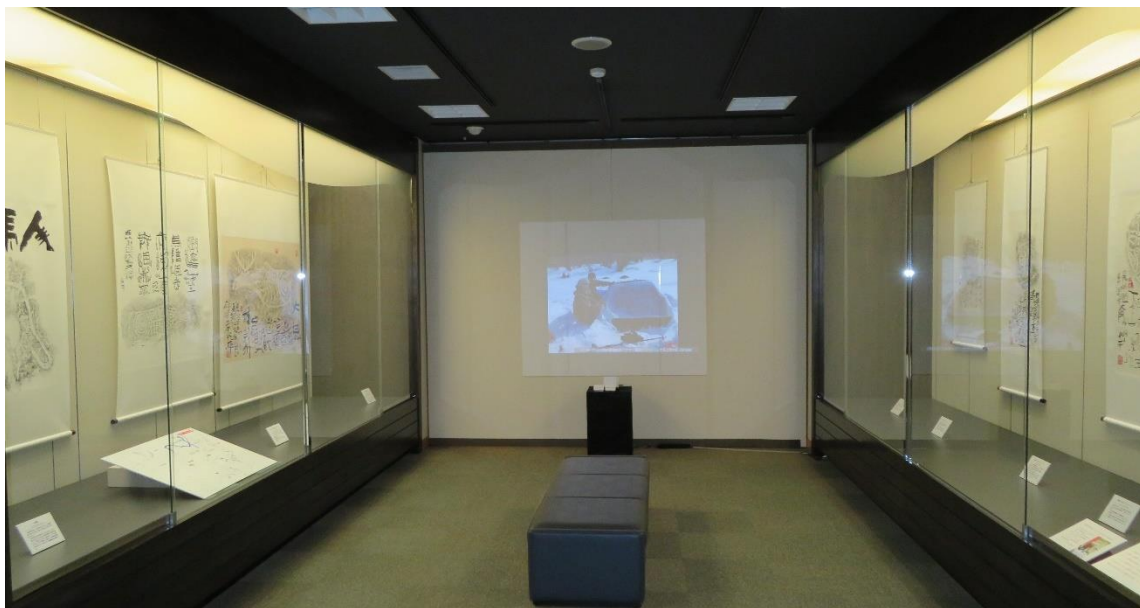


## (2) 第93回企画展「北方ユーラシアの古代『岩画』1万年の世界～北斗七星の大角鹿、龍の起源～」

会期：2024年9月14日～12月10日 76日間（見学者数1,124人）

2022年度に第88回企画展として行った岩画展に次ぐ第二弾。

本展では、現在のロシア連邦ハバロフスク地方シカチ・アリャン村に現存する岩画を主に、ユーラシア最大級の岩画である「アムール川の大角鹿」をはじめ、陰山山脈の「龍の起源」と目される岩画などを紹介した。



アムール川の大角鹿



龍の起源

11月24日 ギャラリートーク「北方ユーラシアの古代『岩画』を読み解く」  
岩画拓本提供者の現代書家岡本光平氏により、ロシアのアムール川流域や中国の陰山山脈での岩画の調査や拓本採集について、冒険心あふれるエピソードを紹介いただいた。また併せて、書の実演ライブを開催した。(参加者23人)



ギャラリートーク



書の実演



### 3 その他展示

#### (1) ミニミニ作品展「ちいさな世界」

会期：2024年5月3日～6月30日 51日間（見学者数1,076人）

思春期に発症しやすい精神的障がいを持つ中学生が、ミニチュア制作の世界に目覚め、努力を重ねミニチュアクリエイターの資格を取得し、自信を持ち創作活動を行うことにより、現在は安定した生活を取り戻そうと日々頑張っている。

本展では、小学校4年生から今日まで作り続けてきた作品の中から代表的なものを展示し、努力の軌跡を紹介した。



## (2) 館蔵品展「馬頭琴コレクション」

会期：2024年12月14日～2025年3月31日 83日間（見学者数1,581人）  
(2025年7月6日)

「スーホの白い馬」でおなじみの、モンゴルの代表的な民族楽器である「馬頭琴」。本展では、当館に収蔵していて普段は展示していない馬頭琴や、その他の民族楽器も併せて紹介した。

また、他の弦楽器(ギター、三味線)との違いを比べてもらうため、実際に3本を弾き比べられるコーナーも設けた。



他の弦楽器との弾き比べ

### Ⅲ 資料収集保存事業

当館の所蔵資料は、二代目館長である故金津匡伸氏から寄贈を受けたモンゴル国の資料やアジアの考古資料を中心に、モンゴル国内や日本各地からの寄贈、寄託及び購入した資料、その他旧但東町民俗資料館が収集保管してきた資料で構成されている。

モンゴル関係資料台帳の電子化及び資料の整理は、2014年度から2018年度でほぼ完了したが、収蔵資料の調査についてはまだ十分ではなく、特に宗教関係資料について詳細調査ができていないものが多数ある。このため、2019年度にモンゴル国立科学技術大学のラグワスレン教授を招いて、宗教関連分野の資料調査に着手し、以降4年間で約550点の調査を予定していたが、新型コロナウイルス感染症により、モンゴル国との往来ができなくなり中断した。そのような時、2022年10月にラグワスレン教授が逝去され、今後の調査継続に困難な状況となったが、国立民族学博物館島村一平教授の協力を得て2023年度から調査を再開することができた。2023年度の調査は、チベット・モンゴル仏教やシャーマニズムに関連するであろうと思われる113点（経典を除く）について実施した。

今年度は、チベット・モンゴル仏教に関連する物で、経典を含む113点について調査を実施した。

#### 1 資料の貸出

貸出日	貸出資料	数量	貸出先
4月26日	白鳥頭のトプショール	1本	国立民族学博物館
2月8日	馬頭琴貸出キット※	1式	福知山市立三和学園
2月17日	馬頭琴貸出キット	1式	大阪教育大学附属天王寺小学校

#### ※馬頭琴貸出キット内容

内 容 物	数量
ミニチュア馬頭琴 本体	1本
ミニチュア馬頭琴 弓	1本
モンゴル帽子	1個
しゃがい	16個
しゃがい遊び方説明	3枚

#### 2 資料の燻蒸

全館にピレスロイド系殺虫剤の空中散布及び有機リン系殺虫剤の乳剤噴霧を年2回実施した。また、収蔵庫（3ヵ所）内には年3回有機リン系殺虫剤の蒸散剤を設置して殺虫・防虫処理を実施した。なお、全館の害虫・ネズミの点検については、毎月実施している。

## IV 普及教育事業

学校からの依頼に応じて、授業に職員を派遣する出前授業を 2000 年度から市内の全小学校を対象に実施している。授業では当館資料を活用して、ちょうど国語の授業で「スーホの白い馬」を学習する小学校 2 年生の児童を主な対象として、児童・生徒のモンゴルへの理解が深まるような授業を実施している。

近隣の京丹後市などからは多くの学校に来館いただいて、来館受入授業という形で行っている。

また、昨年度実施した三重県桑名市の小学校 1 校との Web 授業が、今年度は 4 校に拡大し継続している。

### 1 出前授業

番号	月 日	学 校 名	学年	人数	内 容
1	12 月 5 日	港小学校	2 年	14	モンゴルって どんな国
2	12 月 13 日	城崎小学校	2 年	16	
3	1 月 16 日	合橋小学校	2 年	8	
4	1 月 20 日	福住小学校	2 年	16	
5	1 月 21 日	新田小学校	2 年	25	
6	1 月 23 日	小坂小学校	2 年	9	
7	1 月 24 日	竹野小学校	2 年	25	
8	1 月 28 日	五荘小学校	2 年	92	
9	1 月 30 日	中筋小学校	2 年	10	
10	1 月 31 日	三方小学校	2 年	14	
11	2 月 3 日	三江小学校	2 年	16	
12	2 月 4 日	府中小学校	2 年	25	
13	2 月 6 日	清滝小学校	2 年	17	
14	2 月 7 日	弘道小学校	2 年	24	
15	2 月 10 日	日高小学校	2 年	56	
16	2 月 13 日	八条小学校	2 年	58	
17	2 月 14 日	豊岡小学校	2 年	56	
18	2 月 18 日	八代小学校	2 年	3	
19	2 月 20 日	神美小学校	2 年	20	
20	2 月 21 日	小野小学校	2 年	6	
21	2 月 25 日	田鶴野小学校	2 年	20	
計		21 校		530	

## 2 来館受入授業

番号	月 日	学 校 名	学年	人数	内 容
1	1月24日	豊岡市立資母小学校	6年	10	博物館の仕事
2	2月7日	京丹後市立網野北小学校	2年	29	モンゴルって どんな国
3	2月13日	与謝野町立市場小学校	2年	23	
4	2月18日	京丹後市立かぶと山小学校	2年	22	
5	2月25日	京丹後市立橘小学校	2年	10	
6	2月27日	京丹後市立峰山小学校	2年	15	
7	2月28日	豊岡市立資母小学校	2年	7	
8	3月4日	京丹後市立高龍小学校	2年	22	
9	3月6日	京丹後市立弥栄小学校	2年	31	
10	3月7日	京丹後市立久美浜小学校	2年	27	
11	3月10日	京丹後市立長岡小学校	2年	4	
12	3月11日	京丹後市立島津小学校	2年	11	
計		12校		211	

## 3 Web授業

番号	月 日	学 校 名	学年	人数	内 容	
1	2月18日	桑名市立大山田北小学校	2年	66	モンゴルって どんな国	
2	3月3日	桑名市3小合同	2年	精義小		22
				修徳小		33
				立教小		21
計		4校		142		

## 4 体験教室の開催

教 室 名	実施回数	参加人数	備 考
羊毛フェルトアート	1	20	とよおかアート縁日
羊毛フェルトアート	3/1～3/2 2日間	71	まるごとモンゴル ひなまつり
フラワーハーバリウム		37	
かご編み		15	
ジェルキャンドル		70	
モンゴル文字書道		31	
計			

## 5 イベントの開催

### (1) 第10回おんぷの祭典街角コンサート in 日本・モンゴル民族博物館

実施日：2024年5月30日(土)

今年度も豊岡市において、10回目となる「おんぷの祭典」が5月28日(火)から6月2日(日)まで開催された。その中で、5月30日(土)に当館において「こうのとりのクインテット(木管五重奏)」による街角コンサートが開催された。

一流音楽家の演奏に、子どもから大人まで多くの人が聞き入った。

参加者約120人



おんぷの祭典  
街角コンサート  
in 日本・モンゴル民族博物館

～ 親しみやすい曲を中心に、クラシックの名曲をお届けします～

入場無料  
予約不要

横川 真歩  
(フルート)

笹岡 航太  
(クラリネット)

渡邊 郁恵  
(ホルン)

本多 啓佑  
(オーボエ)

石井 野乃香  
(ファゴット)

5月30日(木) 10:30～11:00 (開場 10:15～)  
演奏 こうのとりのクインテット

※ご参加くださる皆さまへお願い※  
コンサート中に撮影した写真や映像は、おんぷの祭典や豊岡市の広報等で使用させていただきます。あらかじめご了承ください。  
※スケジュール等はやむを得ず変更となる場合があります。最新の情報はホームページをご確認ください。

【主催】 子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽実行委員会・豊岡市・豊岡市教育委員会  
【協賛】 令和6年度 文化庁 文化芸術部活動助成事業  
【問合せ】 おんぷの祭典実行委員会事務局 (TEL 0796-23-1160)

2024  
おんぷの祭典



## (2) 「馬頭琴クリスマスミニライブ」

実施日：2024年12月21日(土)

同時期に開催中の館蔵品展「馬頭琴コレクション」に併せ、馬頭琴奏者の福井則之氏を招き、「馬頭琴クリスマスミニライブ」を開催した。当日は、クリスマスソングを含む馬頭琴の演奏により、大いに盛り上がった。

またライブ後は、参加者によるプレゼント交換、モンゴル料理の「ボーズ」の試食で楽しんだ。参加者17人



## (3) まるごとモンゴルひなまつり

期間：2025年3月1日(土)～2日(日)

毎年ひなまつりの時期に合わせて開催している。今年度は、6年ぶりに会場を博物館に戻し、イベント全体の一体感が出るように考慮した。馬頭琴のミニライブや馬頭琴演奏体験などとともに、職員による羊毛フェルトアート作り、ハーバリウムの作成や地域の協力者によるジェルキャンドル作り、かご編み体験、モンゴル文字の書道体験など多彩なワークショップも実施し、二日間で554人の来館があった。





馬頭琴演奏体験



弓矢の的あて



羊毛フェルトアート



ハーバリウム



モンゴル文字の書道



ジェルキャンドル、かご編み

## 6 トライやる・ウィークの受入れ

2024年6月3日(月)から6月7日(金)まで、但東中学校より5人を受け入れた。また、6月6日(木)には、但東中学校に加え、豊岡北中学校からも4人の生徒を受け入れた。

生徒たちは、朝の開館準備、展示のノウハウの学習、ワークショップの準備、SNSを使った情報発信など博物館の日常業務を体験し、最終日にはその成果発表も兼ねて、来館者への展示説明などを実際に行った。



## 7 情報の発信と公開

展示の様子やワークショップの活動状況などをリアルタイムに発信していくことは、博物館の認知度を上げ、入館者増につながる有効かつ重要なものといえる。

今後も、博物館のさまざまな情報を市広報や各種メディア、SNS等を通して、積極的に発信するよう努めていく。

### (1) 全市的情報発信

市が文化芸術活動の情報発信ツールとして、秋冬期の2期に発行する「Toyooka Art Season」総合パンフレットの中で、当博物館の活動も広報している。

### (2) 企画展チラシ等の配布

市内の各小学校、地区コミュニティセンター、振興局、県博物館美術館協会加入の博物館美術館、道の駅、近隣市町及び報道機関などに配布する。

### (3) 各種報道メディアへの情報発信

企画展、ワークショップ等の実施に合わせ、各種報道メディアへ情報提供を行うとともに、コミュニティFMに積極的に出演するなどし情報発信に努めた。

また、さまざまなメディアからの取材に対しては、積極的に対応するよう努めている。

### (4) インターネット等による情報発信

リアルタイムに情報を発信するツールとして、インターネットやSNSなどの活用が特に重要となっている。

市や当館のホームページ、フェイスブック、インスタグラムで情報発信を積極的に行っている。

SNSの更新は、催し物案内だけでなく、様々な情報や話題を随時取り上げ発信するよう努めている。

## V 国際交流・他機関等との連携

### 1 国際交流

モンゴル国との直接的な交流は現在行っていないが、モンゴル国のみならず、他の国々を含めた多文化共生の普及、推進については、積極的に取り組みたい。

### 2 他機関等との連携

#### 国立民族学博物館(大阪府吹田市)との連携

2023年に国立民族学博物館島村一平教授の協力により再開した収蔵資料調査が契機となり、2024年9月1日に同博物館と「学術交流及び協力に関する基本協定」を締結することができた。

これにより、①研究活動、②教育活動、③研究交流及び人材交流、④施設及び設備の相互利用、その他様々な事項について相互に連携を推進することにより、今後の当館の活性化のみならず、地域づくりの施策等においても協力を期待するものである。

## VI 地域との連携強化

### 1 住民アンケートの実施

4月の市の組織改編により但東振興局地域振興課所管となったことにより、但東地域の地域づくりに博物館としてどう取り組めるかを検討する必要がある。

検討を進めるにあたり、まず当館が但東地域の住民にどのように認識されているかを把握する必要があるため、但東地域全世帯を対象に住民アンケートを実施した。

#### (1) アンケート概要

ア 実施時期：2024年11月25日～12月26日

イ 配布回収方法：区長を通じて配布・回収

ウ 対象世帯：1,589世帯

エ 有効回答数：822回答

オ 回答率：51.7%

#### (2) アンケート内容

アンケート内容については、以下のとおり。

日本・モンゴル民族博物館に関する住民アンケート 回答用紙	
各設問について、該当する番号を○で囲んでください。	
(1) あなたについておたずねします。	
Q1 性別	1. 男性 2. 女性 3. 回答しない
Q2 年代	1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60代 7. 70代 8. 80代以上
Q3 職業	1. 会社員 2. 団体職員 3. 公務員 4. 農林水産業 5. 自営業（農林水産業を除く） 6. パート・アルバイト 7. 学生 8. 無職 9. その他
Q4 お住いの地区	1. 資母地区 2. 合橋地区 3. 高橋地区
(2) 日本・モンゴル民族博物館についてお聞きします。	
Q5 これまでに、日本・モンゴル民族博物館を訪れたことがありますか。	1. 週に1回以上 2. 月に1回以上 3. 年に数回程度 4. 利用したことがない
Q6 日本・モンゴル民族博物館を訪れた（もしくは訪れたいと思った）理由はなんですか。 ※複数回答可	1. モンゴルの文化や歴史に興味がある 2. 企画展に興味がある 3. 博物館のイベントに興味がある 4. 家族や友人と一緒に観光で 5. 学校や団体での訪問 6. こどもの遊び場として 7. 他の地域にない珍しい博物館だから 8. その他（自由記述： )
Q7 日本・モンゴル民族博物館の情報をどれくらいの頻度でチェックしていますか。（ホームページ、フェイスブック、インスタグラム、市広報など）	1. 週に1回以上 2. 月に1回以上 3. 年に数回程度 4. 利用したことがない
Q8 日本・モンゴル民族博物館の情報をどこから得ていますか。	1. ホームページ 2. フェイスブック 3. インスタグラム 4. 市広報 5. 豊岡アートシーズン（パンフレット） 6. クチコミ 7. その他（自由記述： )
(3) 日本・モンゴル民族博物館の活動内容についてお聞きします。	
Q9 日本・モンゴル民族博物館にどのような役割を期待しますか。 ※複数回答可	1. モンゴルの文化と歴史の紹介 2. 子ども向けの学習活動 3. 大人向けの学習活動 4. 国内外のすぐれた芸術の紹介 5. 但東の文化や観光の発信 6. 地域住民の交流の場 7. モンゴルとの交流 8. カフェやレストラン 9. その他（自由記述： )
Q10 日本・モンゴル民族博物館が行っている次の取組をご存知ですか。 ※複数回答可	1. モンゴルの文化や歴史について展示している 2. 但東の文化や歴史について展示している 3. 年に数回、企画展示を行っている 4. モンゴルの文化に関するイベントや体験ワークショップを行っている 5. こどもの遊び場がある（芝生広場） 6. モンゴルや豊岡の書籍やみやげものを販売している

Q11 日本・モンゴル民族博物館が地域やほかの団体と連携して、地域に貢献することについてどう思いますか。

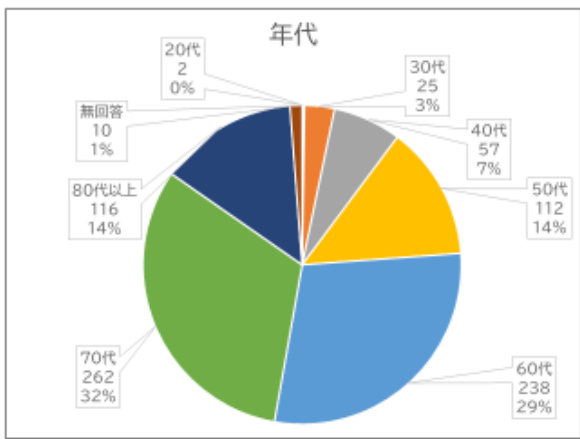
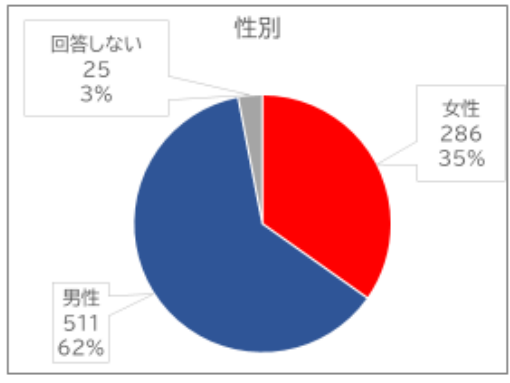
1. 賛成  
2. どちらとも言えない  
3. 反対

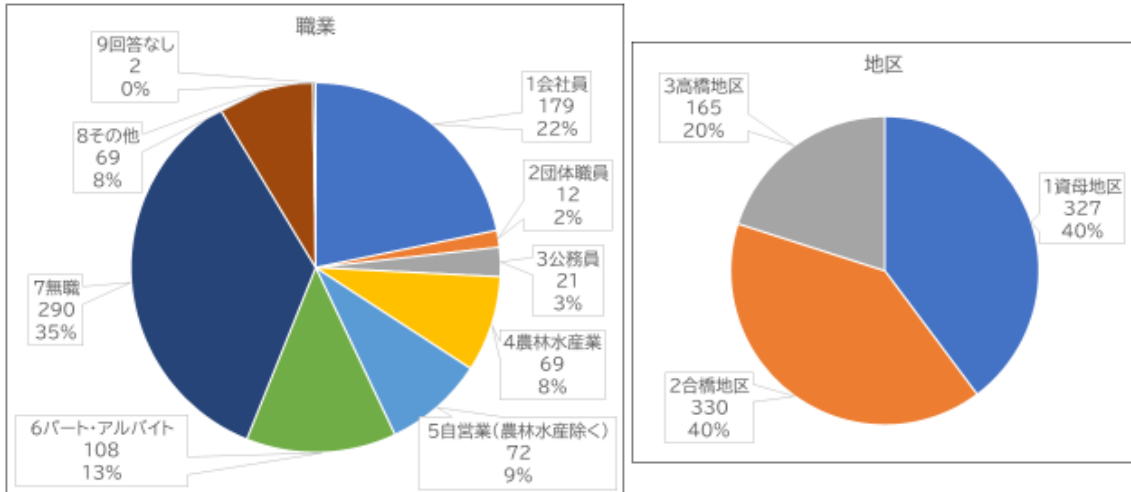
(4) 日本・モンゴル民族博物館と地域づくりについてお聞きします。  
Q12 日本・モンゴル民族博物館が地域の活性化に貢献するために、どのような取組が必要だと思いますか。 ※自由記述

Q13 日本・モンゴル民族博物館に関して、その他ご意見やご要望があればお聞かせください。 ※自由記述

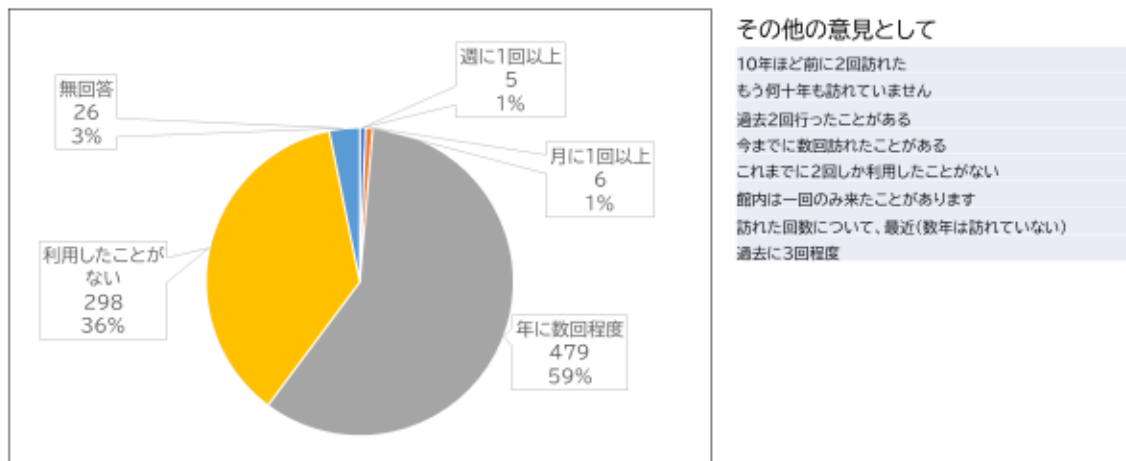
ご協力ありがとうございました。

**(3) アンケート結果**  
**ア 回答者の属性**

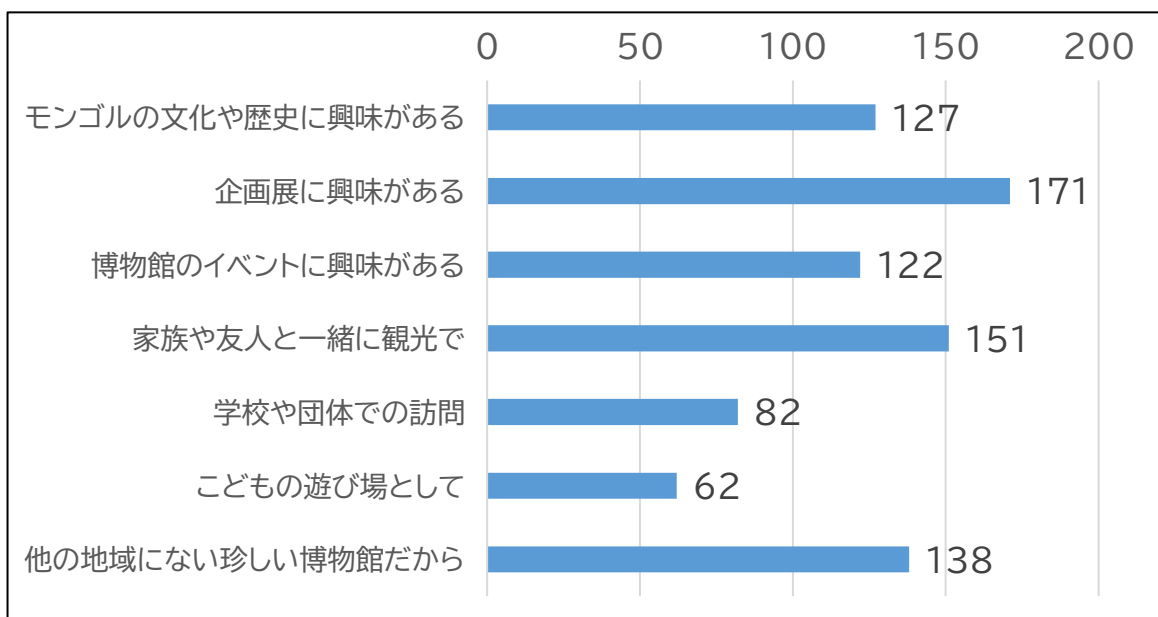




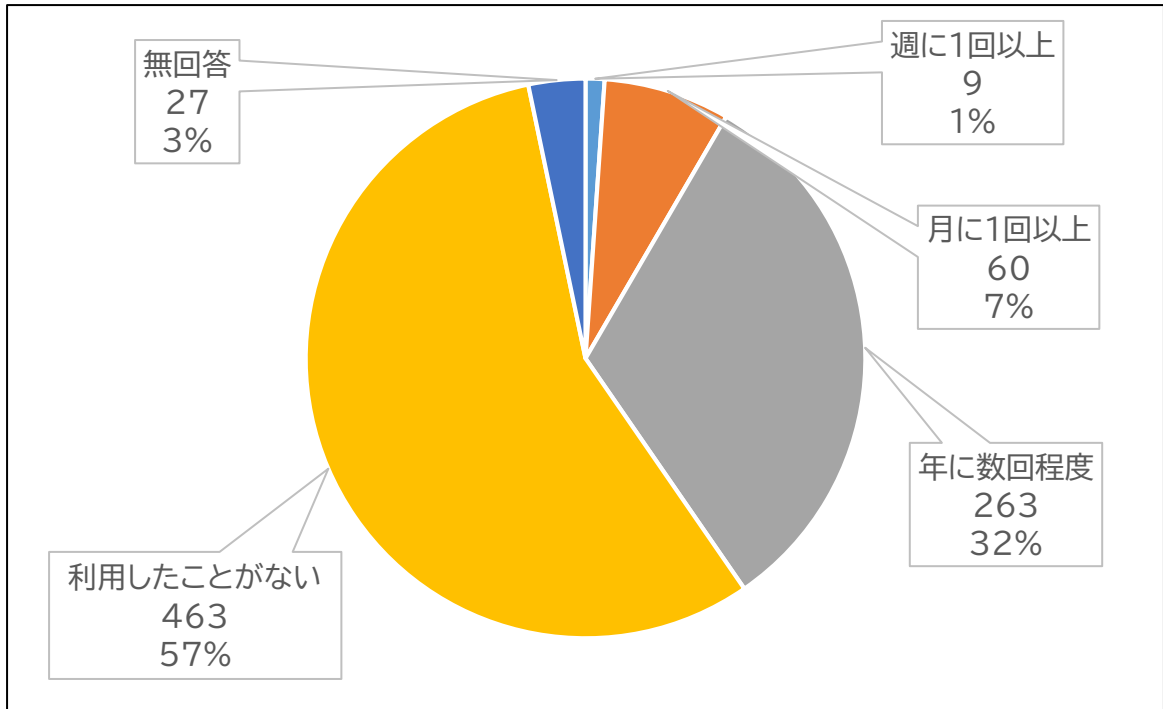
### イ 来館の頻度は?



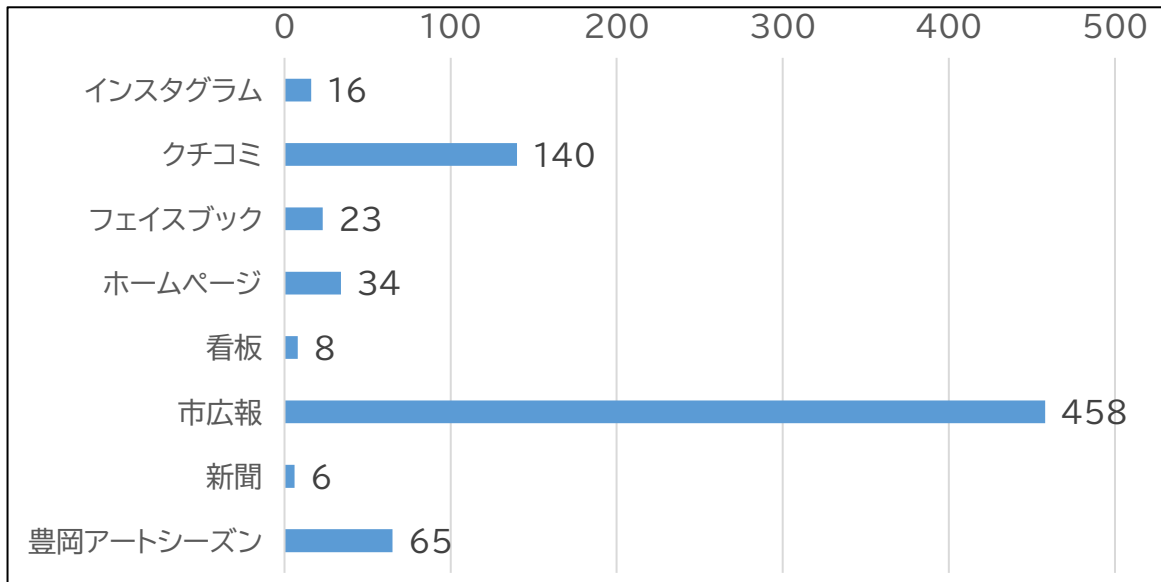
### ウ 来館の理由は? (複数回答)



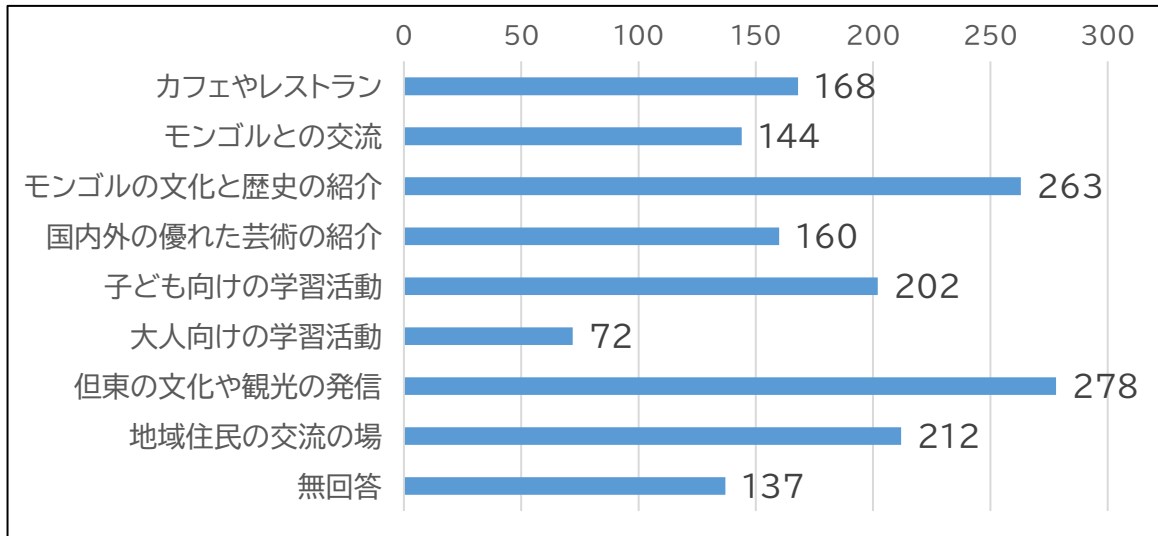
エ 当館の情報のチェック頻度は?



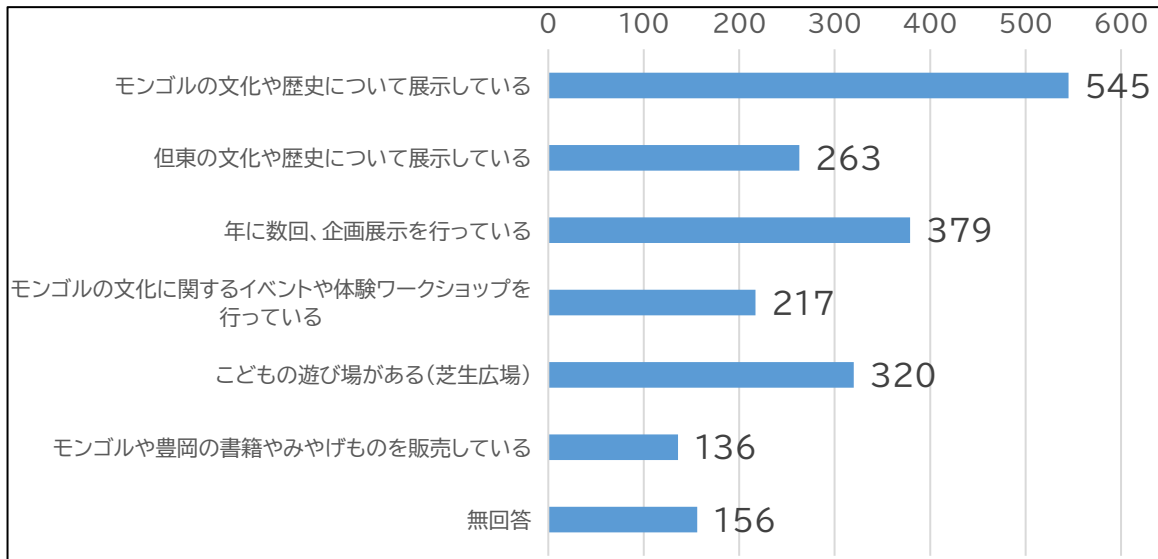
オ 当館の情報の入手元は? (複数回答)



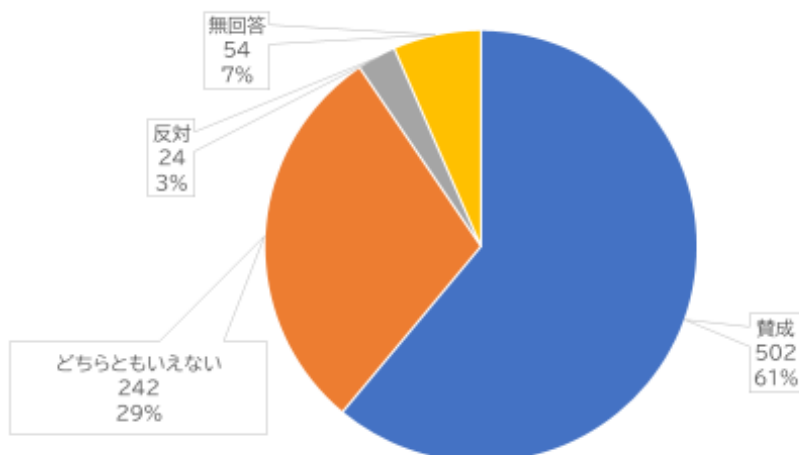
カ 当館に期待する役割は？（複数回答）



キ 当館の取り組みを知っているか？（複数回答）

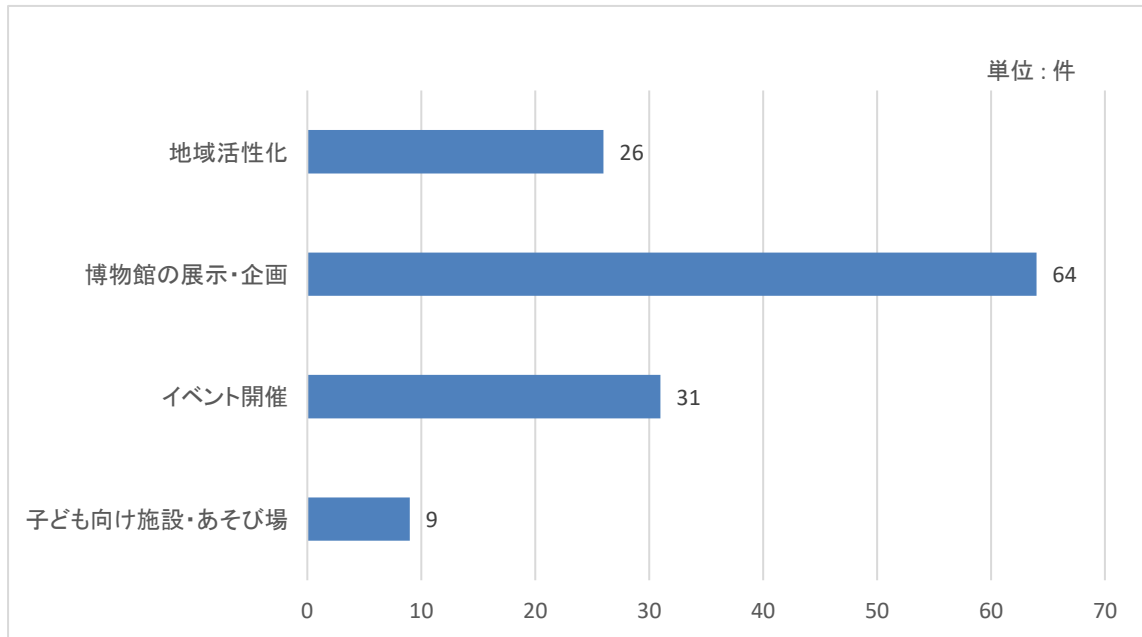


ク 当館が地域や他団体と連携し、地域貢献することは？



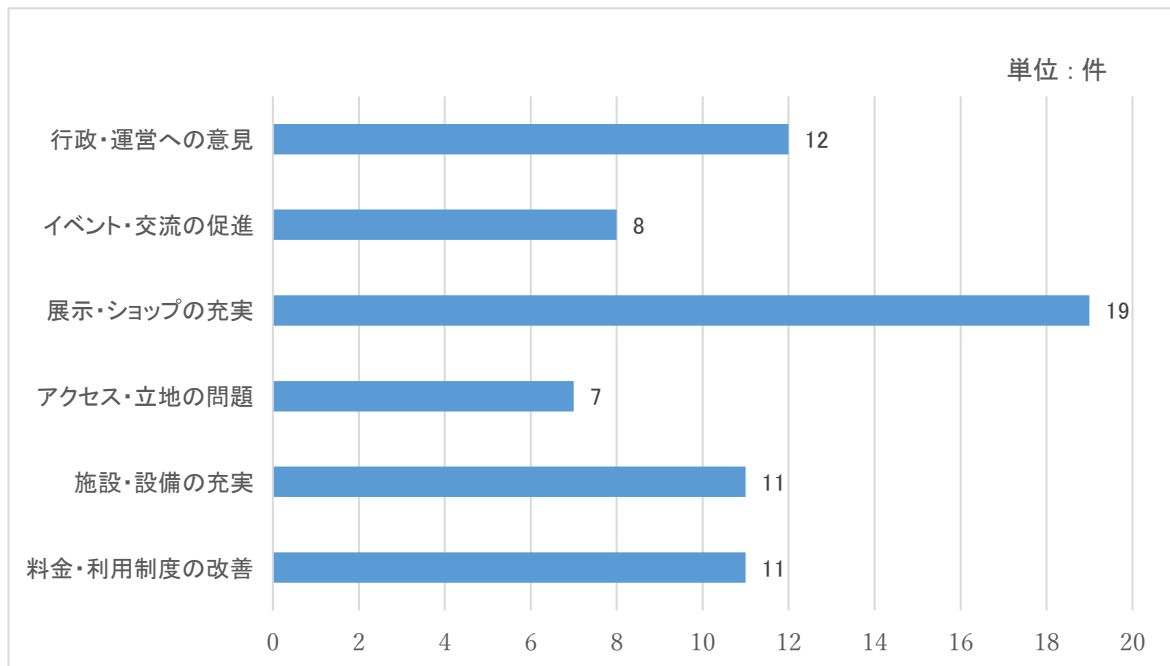
## ケ 当館が地域活性化に貢献するために必要な取り組みに関する意見

当館が地域活性化に貢献するために必要な取り組みに関する自由記述について内容を区分したところ、次のようなものがあった。



## コ その他意見要望

その他意見や要望に関する自由記述について内容を区分したところ、次のようなものがあった。



## 2 「モンゴル博物館に関する住民ワークショップ」の実施

11 月末から 12 月末にかけて実施した住民アンケートの結果も踏まえて、但東の地域づくりを進めるにあたって、当館の活用可能性を検討する「モンゴル博物館に関する住民ワークショップ」を実施した。ワークショップは、2024 年度と 2025 年度の二か年で 4 回実施し、その結果を 2026 年度以降の但東全体の地域づくりに反映させていく。

### (1) ワークショップの目的

但東の地域づくりに博物館が果たす役割を明確にし、具体的で実現可能な施策を検討する。

### (2) ワークショップの参加者

ワークショップ参加者は、地域コミュニティ組織、教育・子育て分野、観光・産業分野、移住者、モンゴル交流の各団体からの 17 名で構成し、アドバイザーとして、福知山公立大学地域経営学部渋谷節子教授にも参加いただいた。

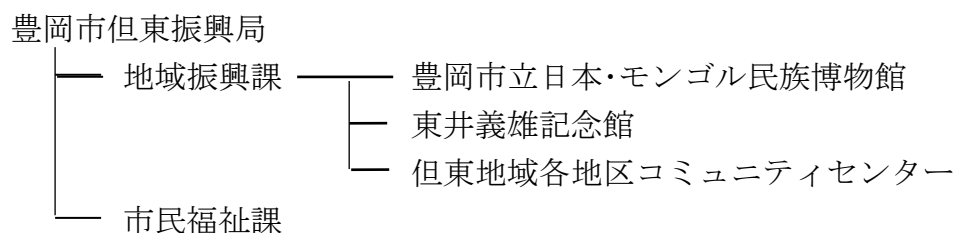
### (3) ワークショップの実施概要

2024 年度	第 1 回 2025 年 1 月 14 日 於:但東振興局	博物館の現状や客観的な地域住民の認識と、地域づくりにおける博物館の活用についての情報共有。参加者 12 人。
	第 2 回 2025 年 3 月 17 日 於:当館	博物館を利用する動機を考え、博物館の利用策について多様なアイデアを発案。参加者 13 人。
2025 年度 (予定)	第 3 回	実現性の高いアイデアを絞り込み、実現に向けた、人、モノ、カネ等についての具体的検討。
	第 4 回	第 3 回目で検討したアイデアのブラッシュアップ。

## VII 管理運営

### 1 組織・職員（2025年3月31日現在）

#### (1) 組織



#### (2) 職員

館長(会計年度任用職員)	桑井 弘之 (2023年4月～)
係長(振興局主査)	水谷 東洋 (2024年4月～)
学芸員(会計年度任用職員)	朝倉 由美 (2013年4月～)
学芸員(会計年度任用職員)	伊崎 文彦 (2015年4月～)
管理員(会計年度任用職員)	前裕 里江 (2023年4月～)
事務補助(会計年度任用職員)	安田 善則 (2023年8月～)

### 2 予算の概要（決算額） 単位：千円

#### (1) 人件費 24,485

ア 報酬	10,663
イ 給与	3,602
ウ 職員手当等	6,800 (扶養手当 198、通勤手当 893、時間外勤務手当 135 期末手当 3,049、勤勉手当 2,525)
エ 共済費等	3,420

#### (2) 管理費 6,645

ア 報償費	200 (報償金 200)
イ 需用費	3,612 (消耗品費 384、燃料費 82、食糧費 2、光熱水費 3,144)
ウ 役務費	608 (通信運搬費 290、手数料 300、保険料等 18)
エ 委託料	1,551 (芝生管理 60、除雪 391、あり方検討業務 1,100)
オ 使用料	400 (自動車借上料 308、土地借上料 6、機器借上料 29、 用品借上料 57)
カ 備品購入費	264 (小型除雪機 264)
キ 負担金	10 (兵庫県博物館協会負担金 10)

#### (3) 事業費 2,928

ア 報償費	1,360 (講師謝礼 1,360)
イ 旅費	77 (普通旅費 77)
ウ 需用費	654 (消耗品費 483、食糧費 21、印刷製本費 150)

エ 役務費	817 (通信運搬費 9、手数料 780、保険料 28)
オ 使用料	20 (機器借上料 20)

### 3 入館者状況

2024年度は、開館日数は305日であり、入館者数は6,378人で前年比12.4%の増となった。前年度は、新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限が解除されたにもかかわらず入館者の伸びが見られなかったが、今年度になりようやく平常に戻りつつあるように感じる。今後も、より魅力的な企画展の実施や常設展の改善を検討するとともに、企画展に併せてワークショップの開催や地域との連携による新たな取り組みも検討しつつ、より一層充実した館の運営を図っていく必要がある。また併せて、さまざまな手段を用いた情報発信を強化し、集客に努めていく。

#### 【2021年度（令和3年度）（開館日：291日）】

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
協力会	5	4	4	8	2	7	6	4	3	1	3	0	47
一般	189	65	73	141	295	104	289	1,077	446	1,439	176	412	4,706
高、大	1	1	2	2	9	3	10	15	15	21	1	7	87
小、中	19	7	9	33	67	9	31	70	15	97	33	167	557
その他	58	21	122	126	145	91	198	363	245	410	94	255	2,128
計	272	98	210	310	518	214	534	1,529	724	1,968	307	841	7,525
1日平均	12	6	8	12	19	9	23	59	32	75	14	33	26

#### 【2022年度（令和4年度）（開館日：302日）】

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
一般	318	458	348	550	2,097	164	178	238	111	73	233	421	5,189
高、大	7	5	3	19	69	10	3	3	2	1	4	8	134
小、中	32	41	7	52	154	10	4	0	10	9	35	111	465
その他	209	176	147	168	485	185	222	466	112	66	195	269	2,700
計	566	680	505	789	2,805	369	407	707	235	149	467	809	8,488
1日平均	22	25	20	33	108	14	15	31	10	6	19	31	28

【2023 年度（令和 5 年度）（開館日：306 日）】

区 分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
一 般	363	270	132	202	386	206	224	260	87	124	251	348	2,853
高、大	5	11	0	2	19	6	48	14	0	3	8	14	130
小、中	37	20	7	13	67	13	17	4	3	19	39	68	307
その他	179	106	88	147	205	77	132	701	108	95	266	281	2,385
計	584	407	227	364	677	302	421	979	198	241	564	711	5,675
1 日平均	21	16	9	15	27	12	16	39	9	10	23	26	19

【2024 年度（令和 6 年度）（開館日：305 日）】

区 分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
一 般	352	342	313	347	796	337	171	258	149	117	93	445	3,720
高、大	5	22	4	8	42	18	4	2	2	1	1	12	121
小、中	50	30	13	17	87	28	10	6	11	18	14	119	403
その他	152	264	109	187	262	121	39	303	49	57	171	420	2,134
計	559	658	439	559	1,187	504	224	569	211	193	279	996	6,378
1 日平均	20	25	17	22	44	19	9	22	9	8	13	37	21

2025 年 3 月末延べ入館者数 489,961 人

## 4 施設管理

### (1) 芝生管理

敷地内に広がる芝生管理は、職員による直営管理を基本とし、年 2 回豊岡市シルバー人材センターに委託し芝刈りを実施した。またそれとは別に、シルバー人材センターにはボランティア活動として、年 1 回博物館周辺の除草作業を行っていただいている。

### (2) 施設修繕等

開館以来 28 年以上が経過しており、施設の大規模改修や空調の更新など根本的な長寿命化の工事等が望まれるところであるが、今年度については、非常時設備の交換や設備の必要最小限の修繕を実施した。

なお、施設の維持管理については、今年度から市の包括管理に移行した。

ア 非常用放送設備交換	1,538,024 円
イ 企画展示室照明交換	327,156 円
ウ 事務室受付ガラス交換	299,784 円
エ 身障用トイレ手洗水栓交換	125,127 円
オ その他小修繕(5 件)	75,015 円

## 5 外部役員等就任状況

但馬地域博物館連絡会 監事

## 6 博物館ネットワーク

### (1) 兵庫県博物館協会

兵庫県内の博物館・美術館・資料館で構成され、県立歴史博物館が事務局館を務めている。

- ・2024年6月14日（金）総会（兵庫県立歴史博物館）
- ・2024年6月14日（金）第1回研修会  
「幼児期からのミュージアムエデュケーション」
- ・2025年2月26日（水）第2回研修会（尼崎市立歴史博物館）  
演題「高校生・大学生等を対象とした人と自然の博物館の活動－現状・課題・未来－」及び施設見学
- ・協会が運営するWebサイト「ひょうごミュージアムガイド」で加盟する公立・私立141の博物館・美術館の情報を案内
- ・リーフレット「ひょうごミュージアムガイド」の作成、配布

### (2) 但馬地域博物館連絡会

兵庫県北部に位置している但馬管内の博物館施設が、相互協力して博物館活動の振興を図るため、1997年4月25日に設立された。2025年3月末現在で17館が加盟しており、当館は1997年4月に加盟している。

2023年度及び2024年度は、輪番で監事に就任している。

- ・2024年5月17日（金）役員会
- ・2024年7月5日（金）総会
- ・2024年10月24日（木）研修会  
「博物館や施設で活用できるデジタル技術～講義と実習～」

## 7 博物館日誌抄

2024年度の主な出来事を日報から抜粋して記載する。

- 4月1日 豊岡市機構改革により、但東振興局地域振興課に所管替え  
第91回企画展「都市化が進む現代モンゴル～写真家B・インジナーシが見た首都ウランバートル社会の断面」前年度から継続開催
- 4月12日 チューリップまつり開会
- 4月13日 チューリップ会場内で博物館PR実施
- 4月14日 チューリップ会場内で博物館PR実施
- 4月17日 さつき(ヤギ)左前脚診察、治療開始
- 4月18日 さつき(ヤギ)再診
- 4月21日 チューリップ会場内で博物館PR実施
- 4月22日 チューリップまつり終了
- 4月23日 第91回企画展終了

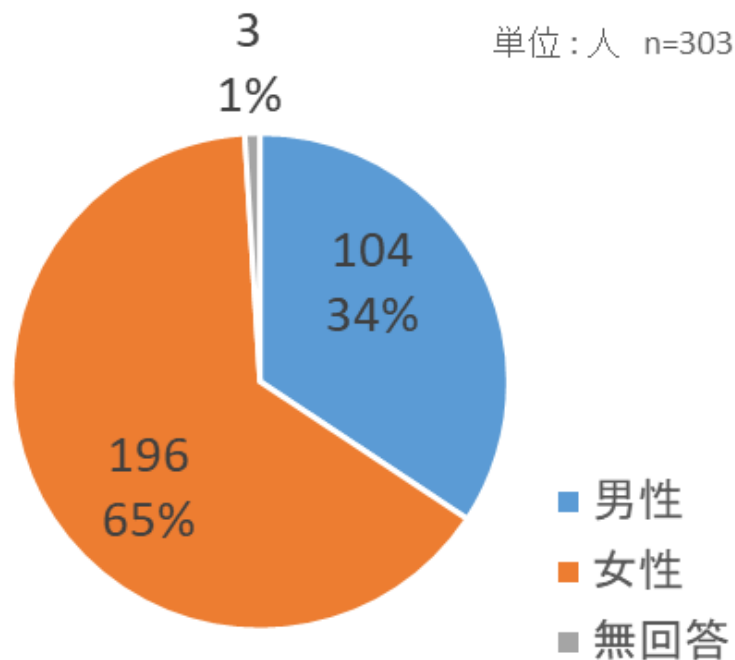
- 4月25日 モンゴル人写真家B・インジナーシ氏来館。  
国立民族学博物館島村一平教授外1人随行。  
河合美智子氏取材来館。
- 5月2日 ミニミニ作品展「ちいさな世界」取材受け入れ。  
神戸新聞、読売新聞(鳥取市)
- 5月3日 ミニミニ作品展「ちいさな世界」開始。
- 5月5日 日本海新聞ミニミニ作品展取材受け入れ。
- 5月18日 さつき(ヤギ)ほぼ寝たきりになる。
- 5月23日 福知山公立大学渋谷節子教授外学生13人見学来館。  
さつき(ヤギ)介護ベッド作成。完全介護へ。
- 5月23日 おんぷの祭典街角コンサート(多目的スペース) 122人参加。
- 6月3日 トライやるウィーク受け入れ開始(但東中学校3人)
- 6月4日 トライやるウィーク1日のみ受け入れ(但東中学校2人)、計5人に。
- 6月6日 トライやるウィーク1日のみ受け入れ(豊岡北中学校3人)、計6人に。
- 6月7日 トライやるウィーク終了。  
さつき(ヤギ)死亡。
- 6月17日、18日 山口大学鈴木舞講師、遼代金工馬装具調査来館。
- 6月20日 産経新聞ミニミニ作品展取材受け入れ。
- 6月30日 ミニミニ作品展終了。
- 7月5日 但馬博物館連絡会総会(欠席)
- 7月6日 第92回企画展「鉛筆彫刻人シロイ～直径3ミリからの芯世界～」開始。  
シロイ氏による実演会を4回実施。参加者55人。
- 7月13日 サンテレビ企画展取材受け入れ。
- 7月15日 ひょうごプレミアム芸術デー 無料入館。
- 7月16日 館内燻蒸実施。
- 7月20日 とよおかアート縁日(市民プラザ:3人従事)  
ワークショップ「羊毛フェルトアート」(20人)
- 8月3日 企画展に併せシロイ氏による実演会を午後2回実施。参加者67人
- 8月4日 企画展に併せシロイ氏による実演会を3回実施。参加者79人。
- 9月1日 「大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立民族学博物館と兵庫県豊岡市との学術交流及び協力に関する基本協定」を締結。  
第92回企画展終了。  
シロイ氏の実演会を計画していたが、台風10号襲来予報のため中止。
- 9月3日 豊岡市博物館及び美術館運営委員会(市立歴史博物館にて)
- 9月8日 毎日新聞民博との基本協定について取材受け入れ。
- 9月14日 第93回企画展「北方ユーラシアの古代『岩画』1万年の世界～北斗七星の大角鹿、龍の起源～」開始。
- 9月21日 但馬新聞企画展取材受け入れ。

- 10月19日 但東わいわいフェスタ(但東庁舎)にてワークショップ実施。
- 10月31日 }  
 11月1日 } 横浜 ユーラシア文化館学芸員 資料熟覧。
- 11月3日 しぼ・モンゴル宝まつり(関西文化の日)。無料入館。
- 11月14日、15日 遼代金工馬装具、古代青銅器調査来館(山口大、東北大等関係者4人)。
- 11月19日 館内燻蒸実施。
- 11月24日 第93回企画展岡本光平氏ギャラリートーク「北方ユーラシアの古代『岩画』を読み解く」及び書実演会。参加者23人。
- 11月28日 産経新聞企画展取材受け入れ。
- 12月10日 第93回企画展終了。
- 12月14日 館蔵品展「馬頭琴コレクション」開始。(2025年4月22日までの予定)
- 12月17日 但馬ふるさとづくり協会取材受け入れ(YouTube配信)。
- 12月19日 日本海新聞館蔵品展取材受け入れ。
- 12月21日 福井則之氏による馬頭琴クリスマスミニライブ。参加者17人。  
サンテレビ取材受け入れ。
- 1月21日 日本海新聞館蔵品展取材受け入れ。
- 1月24日 第1回「モンゴル博物館に関する住民ワークショップ」実施(但東振興局にて)。参加者12人。
- 1月30日 福山市立大学准教授外学生1人、視察来館。
- 2月6日 九州国立博物館文化交流展室長、遼代金工馬装具展示修理に来館。
- 2月20日 }  
 ↓ } 国立民族学博物館島村教授による収蔵資料調査。(臨時休館)  
 2月22日 }
- 2月27日 豊岡市博物館及び美術館運営委員会(当館にて)
- 3月1日 まるごとモンゴルひなまつり第1日目。来館者245人。  
但馬新聞、日本海新聞取材受け入れ。
- 3月2日 まるごとモンゴルひなまつり第2日目。来館者309人。  
FMジャングル取材受け入れ。
- 3月9日 2025年度地域連携事業説明会。参加者5人。  
(図書コーナー展示及び中庭等活用)
- 3月17日 第2回「モンゴル博物館に関する住民ワークショップ」実施(当館にて)。参加者13人。

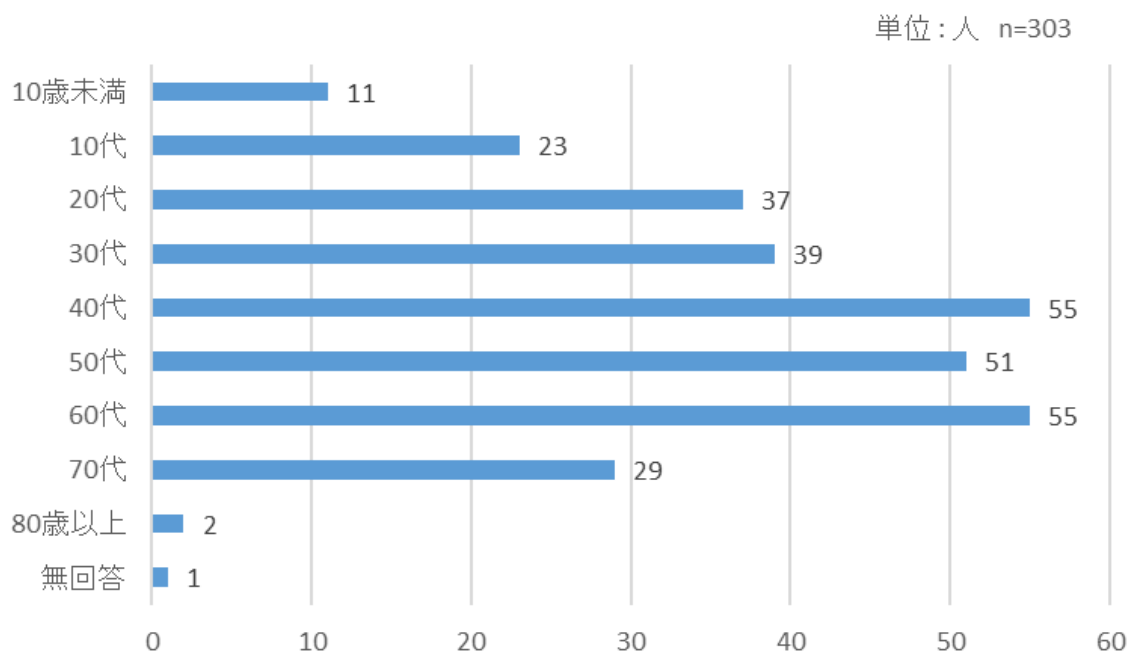
## 8 2024 年度来館者アンケート(回答総数 : 303)

### (1) 回答者の属性

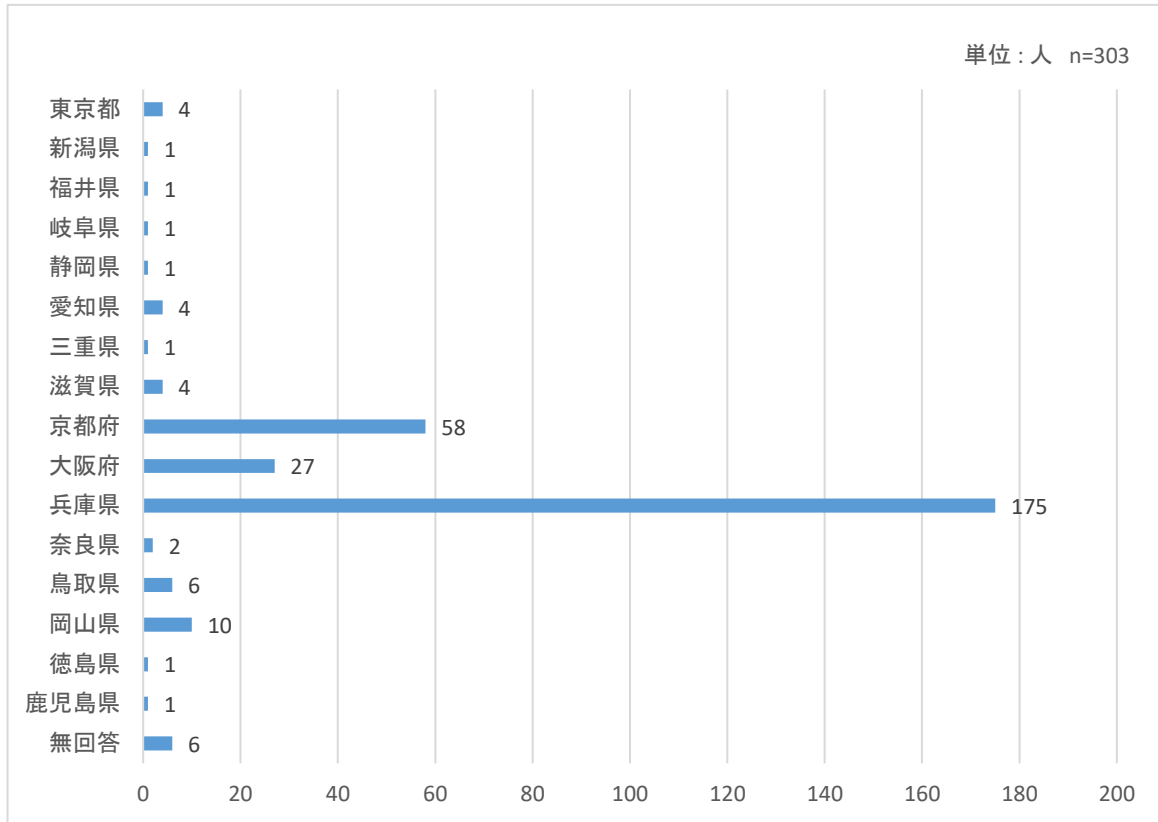
#### ア 性別の内訳



#### イ 年代の内訳

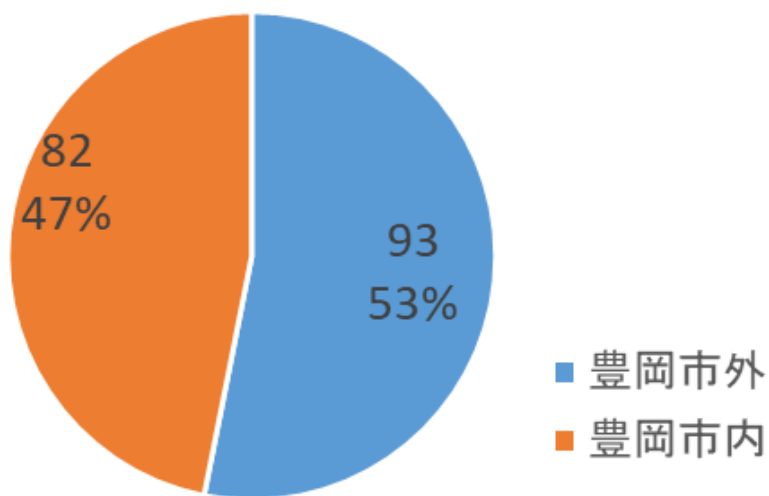


## ウ 都道府県の内訳

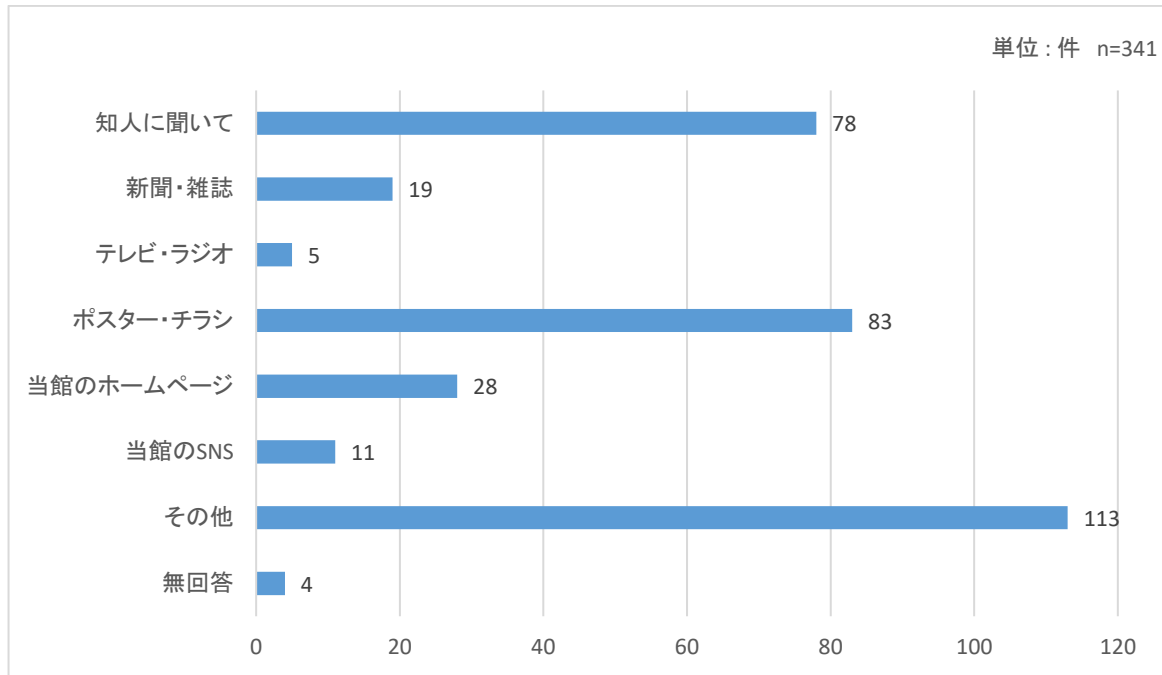


## ※ 兵庫県内来館者のうち豊岡市内来館者の割合

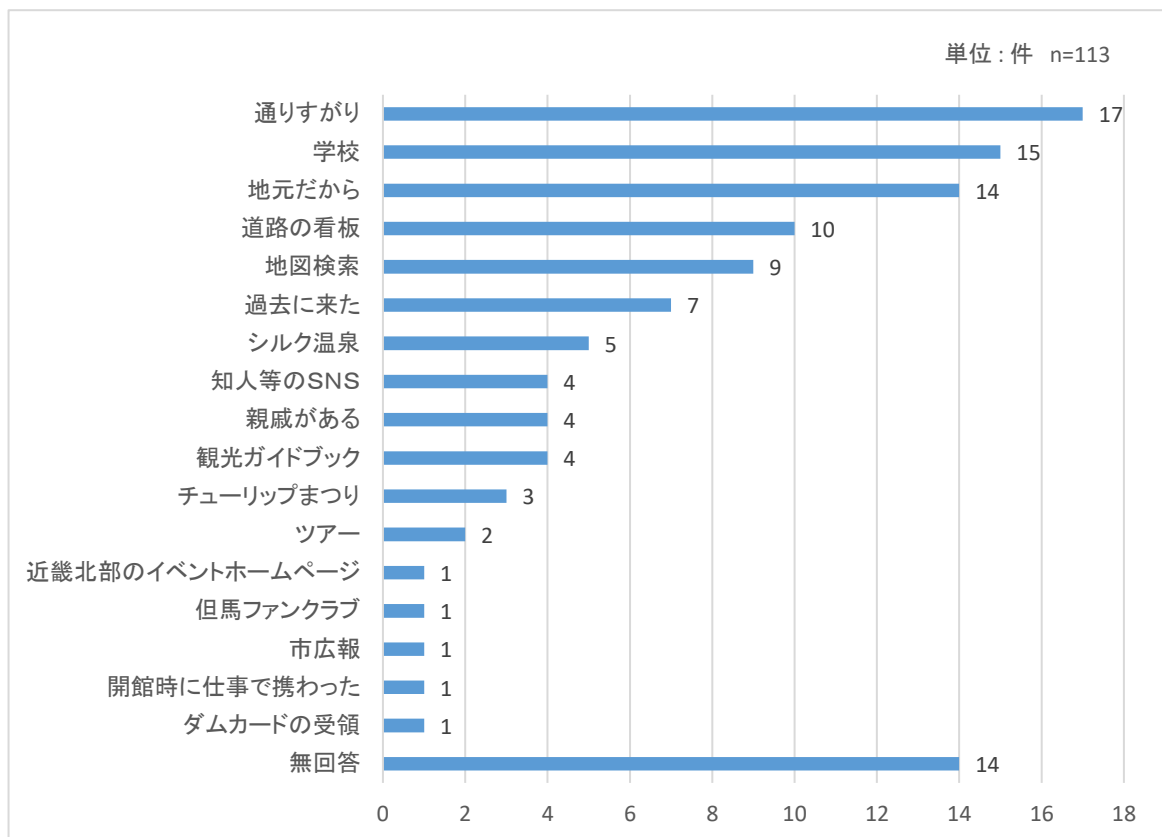
単位：人 n=175



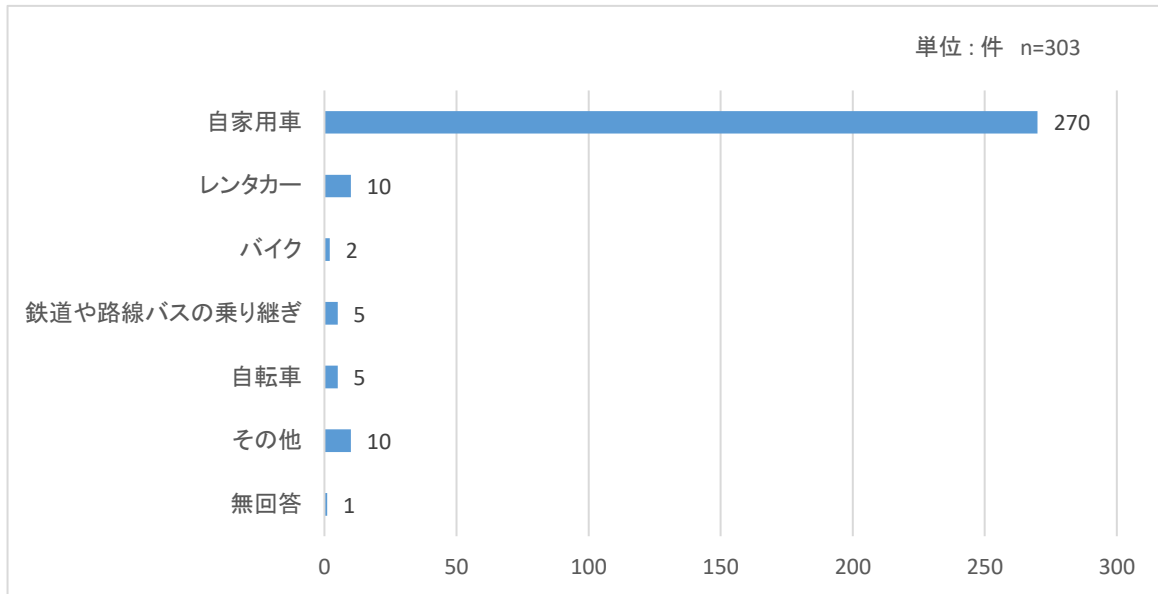
## エ 当館を何で知ったか?(複数回答)



### ※ 「その他」の内容

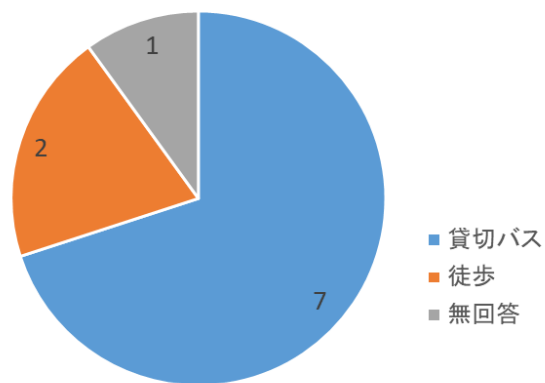


## オ 来館の手段は?



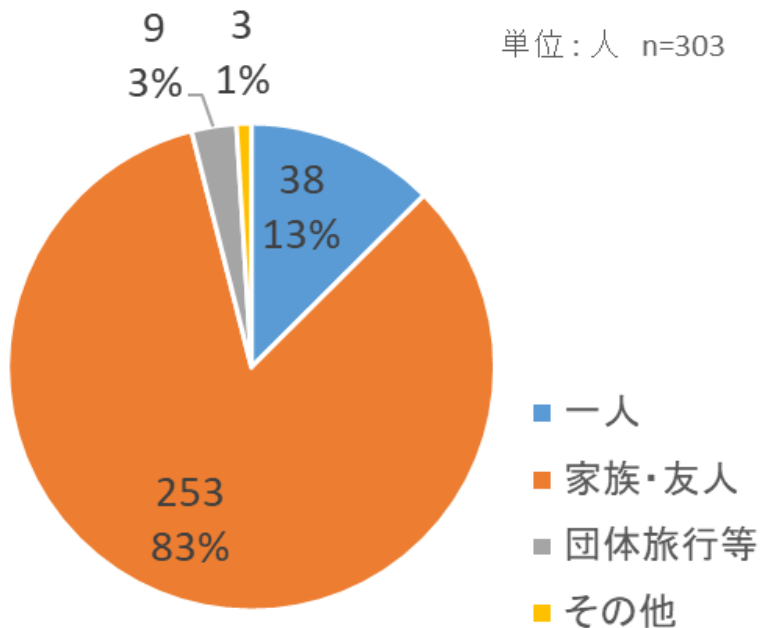
### ※ 「その他」の内容

単位：件 n=10



## カ 誰と来館したか?

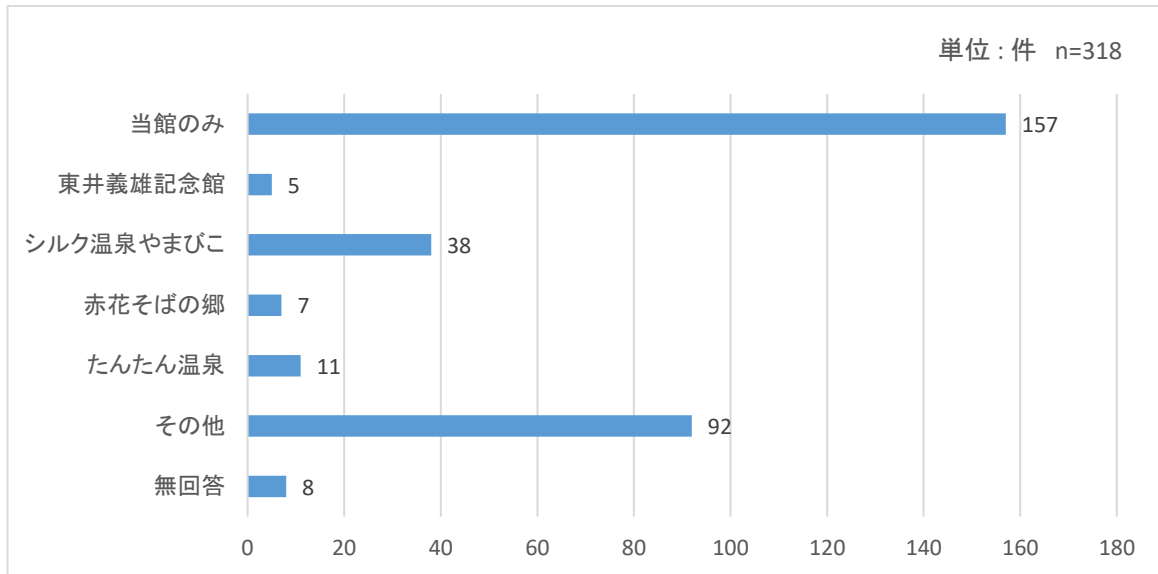
単位：人 n=303



### ※ 「その他」の内容

- ・恋人
- ・職場の同僚
- ・大家さん

キ 他にどこに立ち寄ったか?(複数回答)

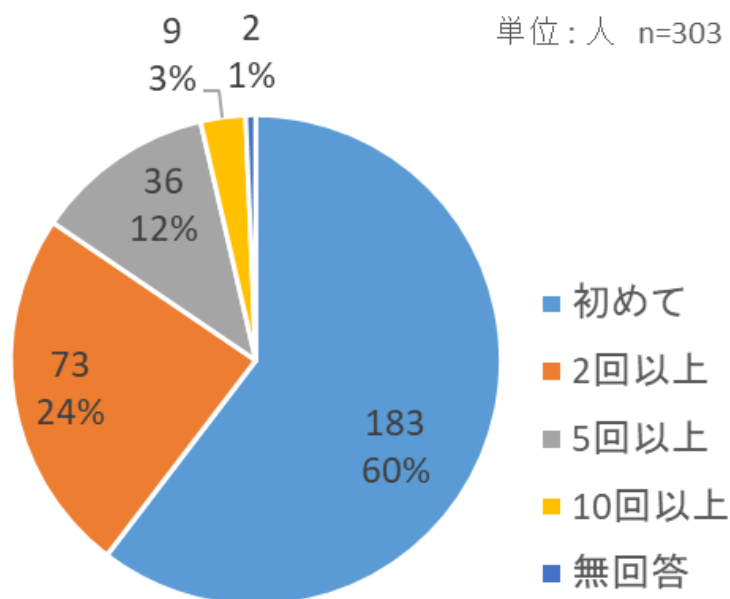


※ 「その他」の立ち寄り先ベスト5

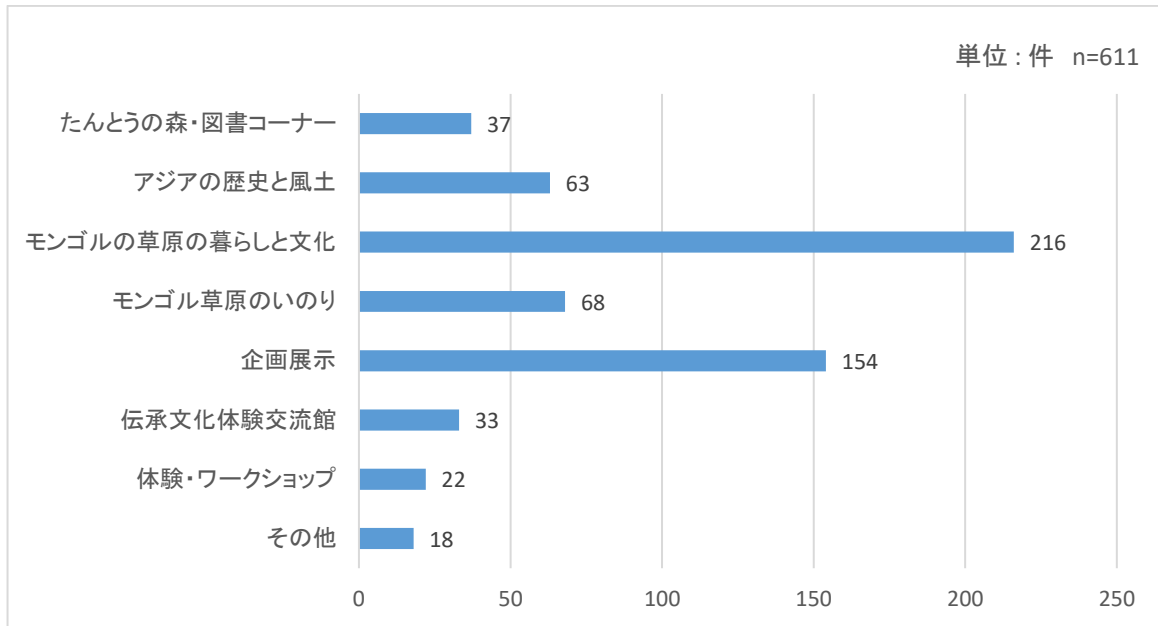
単位：件

1位	出石町(出石城、そば)	10
1位	城崎温泉	10
3位	但熊(卵かけご飯)	7
4位	チューリップまつり	6
5位	ひまわりまつり	5

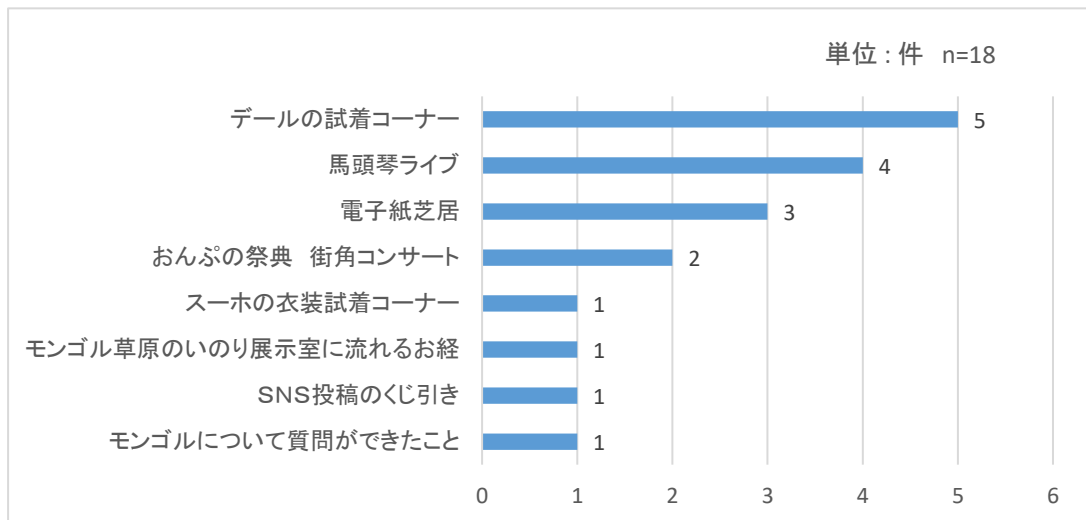
ク 来館回数は?



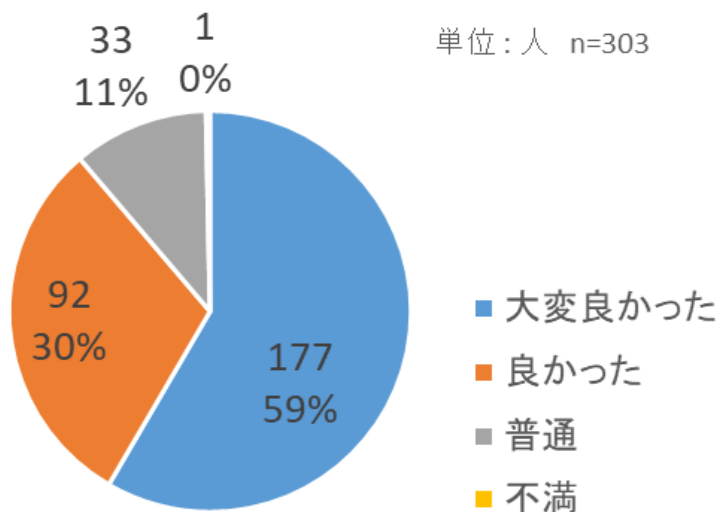
## ケ 当館の展示等で何が良かった?(複数回答)



### ※ 「その他」の内容



## コ 職員の対応は?



## (2) お客様の声

(原文のまま)

5月6日	兵庫県	豊岡市	40代	女性	Instagram を拝見しましたが、もっと展示内容やアクセスをアピールしたり、馬頭琴が弾けることを告知したりするのいいと思います。馬頭琴の弾き方を丁寧にご指導していただきました。くじは最高でした!! 販売物や図書コーナーも可愛くて、厳選されたものを置かれているのがよくわかりました。地方の博物館では、チープでセンスがないものがよく置かれていて、一気にテンションが下がります。
5月23日	京都府	福知山市	20代	女性	実際の展示品を目にしたたり触れたりしながら説明を受けることでより一層、モンゴルという国のイメージが湧きました。また、館内は落ち着いておりのんびりとした時間を過ごすことができ居心地が良かったです。
5月27日	京都	京都	30代	女性	展示品の説明が少ない。自由に着られる衣装の見本があればもっといい。男用か女用かわからないし合わせ方がわからない。モンゴルの歴史年表とか一方日本はこのような時代は、とあればもっといい。写真がたくさんあっていいですがいつの時代かわからない。
6月2日	兵庫県	豊岡市	50代	男性	全体的にもっと音や映像を流した館内でも良いと感じた
7月5日	京都府	福知山市	20代	男性	キリル文字やモンゴル文字で表されたモンゴル語の読み方を教えてもらえる展示があれば良いと思いました。

7月6日	大阪府	箕面市	40代	女性	<p>今回は、芯世界の展示が観たくて来館したのでモンゴルには興味なかったのですが、展示を見ると知らなかったモンゴルの文化やチベット仏教も沢山知れて面白かったし満足度が上がりました。</p> <p>今回の企画展とこちらの博物館の関連性がわからなかったけど、どんなきっかけであれこちらの博物館に足を運ばせるきっかけを作られたのは良かったと思います。</p> <p>また、職員の方も実演の時間丁度に来館したのでわざわざその場まで案内してくださったり、写真も快く撮って下さり親切な対応がとても良かったです。</p> <p>私はよくインスタやXの広告で展示会などが流れてきた時、行ける距離なら行ってみたいと思って足を運ぶことが多いので、今後も活用されたらいいと思います。</p> <p>また、今回は実演を観れたのもとても良かったですし、作家さんとお話できたのも色々知れて良かったです。</p>
7月15日	愛知県	名古屋市	30代	男性	<p>とても居心地のよい場所でした。近くにあれば通ったと思います。ありがとうございました。</p>
8月3日	愛知県	名古屋市	30代	女性	<p>遠くから来たけれどまた来たいと思える施設でした。</p>
8月3日	兵庫県	明石市	10歳未満	男性	<p>企画展の鉛筆が最高！細かくてきれいですごかった！鉛筆はすぐ折れるのに折れずに文字ができていたな。</p> <p>おもちゃで遊んだのもいい思い出。また行きたいな。暑くないときに外の芝生で遊びたいな。館内が涼しくてよかったな。</p>
7月15日	兵庫県	豊岡市	30代	女性	<p>民族衣装で着方が分からないものがあるので説明のポップや職員さんと呼べるボタンなどがあると有り難い。職員さんが受付などでいつも丁寧に対応してくれるのが嬉しい。</p>
8月6日	京都	京都市	20代	男性	<p>道路の看板を見て立ち寄った。</p> <p>地質、政治、生活、文化など、実に多様な方面の展示物たちは圧巻だった。</p> <p>(¥1,500 だったとしても満足)</p>

8月8日	東京都		10歳未満	女性	馬頭琴が弾けてよかった。ゲルに入れて楽しかった。また来たいです。
8月10日	三重県	桑名市	20代	女性	企画展がとても面白かったです。 豊岡で見られるとは思っていませんでしたが、実際に自分の目で素晴らしい作品を見ることができて、非常に有意義な時間になりました。 また他の企画展が開催される時は行きたいと思います。
8月12日	静岡県	静岡市	30代	女性	モンゴルの暮らしや文化を楽しく学びました。遠いので少し悩んでいましたが、来て良かったです。
8月17日	京都府	京丹後市	30代	男性	チベット仏教に関するコーナーがとても良かった。写真OKなのも良かった。
8月30日	愛知県	刈谷市	40代	男性	モンゴルは知っているようで良く知らない国。当館の様な施設は珍しく、ダムカードで偶然訪れたが良かった。特にオオカミの剥製には大きさに驚かされました！
9月1日	兵庫県	豊岡市	30代	女性	小さくてシンプルな展示品をより良くみせるための工夫が随所にあって素晴らしかったです。キャプションパネルがとてもキレイで細部までこだわりを感じました。
9月1日	兵庫県	西脇市	50代	女性	企画展には、「人の温かさ、崇高なひらめき」のようなものが根底につながるテーマのように感じられて、毎回楽しみにしています。
9月5日	京都府	亀岡市	20代	男性	馬頭琴が実施に演奏できれば良いと思う
9月14日	兵庫県	豊岡市	60代	男性	スーパーの岩画のチラシを見て、来ました。夜道で見る雄鹿もどこか神々しさがあるので、大角鹿を崇拜した古代の人の気持ちはよくわかる気がしました。魔除けの人の顔もどこかユーモラスで、縄文時代の時期に、北方では大角鹿やアムール虎などと共に人々の暮らしがあったんだな、ということがよくわかっておもしろかったです。但東の民家では、牛小屋、お風呂やロフトの再現が素晴らしく、懐かしかったです。但馬縮緬や満州開拓団のこともわかり、勉強になりました。ロビーに展示の人形がカッコ良かったです。

9月22日	岐阜県	山県市	60代	女性	<p>地方の博物館なのに（と言っでは大変失礼なのですが）中身が濃くて楽しかったです。もっと多くの人にアピール出来たらいいなと。</p> <p>失礼ながら、私自身もwikiでこの成り立ちを知るまではよくある地方自治体が無理やり姉妹都市提携してしまった成れの果てかなと思っていたので。</p>
	京都府	舞鶴市	10歳未満	女性	<p>モンゴルの家のことや、つかわれるものは、2年生のころならっていなかったから、（ばとうきんだけ）べんきょうになりました。いまは、4年生です。4年生のくらすのなかの人たちにおしえたいです。</p>
9月29日	兵庫県	豊岡市	50代	女性	<p>石器時代の岩絵は興味深かった。古代の文明以前の人々の暮らしが、体を養うだけでなく心も豊かに暮らしていたのが、現代の私たちに通じるものがあるとじーんとなりました。いつの時代も人々は一生懸命生きていることが素晴らしい。</p>
11月15日	兵庫県	宝塚市	20代	女性	<p>モンゴル遊牧民の生活に興味があり、ずっと行きたかった博物館でした。</p> <p>ゲルの中に入れたのが一番うれしかったです！</p> <p>モンゴルに行ったとしても、観光客としてはおそらく実際にゲルの中に入らせてもらったりはできないので、大満足でした。春夏秋冬で移動場所がわかるジオラマは、見る面によって勉強になりました。</p> <p>スーホになれる衣装もめちゃくちゃ可愛かったです。スーホになりました！</p> <p>本格的な民族衣装は羽織るとたしかに暖かく、実感できて良かったです。</p> <p>館内が少し肌寒かったのですが、剥製等の管理のため…なのか、モンゴルの気候の再現なのかな、とも思ったりしました。</p> <p>念願の場所だったのですごく楽しかったです。</p> <p>各資料もわかりやすくまとめてあって素敵でした。</p>

12月8日	大阪府	豊中市	70代	男性	こんな所に（と言っては失礼ですが）モンゴル文化紹介の立派な建物があり、長年運営されていることに敬服いたします。岡本光平氏の”岩画”への情熱すごいなと思いました。また氏の”書”がすばらしいと思いました。冬の雨の但東路の風情をたんのういたしました。
12月28日	兵庫県	豊岡市	60代	男性	素晴らしい施設であり、貴重な展示品が多い。ただ、一度来館するともう一度来ようという気にはなかなかならないかもしれない。民俗学や異文化を深く勉強しようという人であればリピーターとなるかもしれない。 子どもたちや異文化に興味のある人たちがモンゴル博物館の展示物を説明したり、PRしたりするような「博物館サポーター」になってくれたらいいなと思った。 またモンゴル博物館は市立なのでハードルは高いかもしれないが、但東町シルクロード観光協会と連携して、チューリップ祭りやドウダンツツジの公開、シルク温泉等のイベントの時に割引券や優待券などを渡すようにして、博物館に足を向けてもらってはどうか。集客については博物館単独で考えず、地域で考える方が有効なような気がする。
1月20日	兵庫県	日高町	40代	男性	道具・アクセサリ・チベット仏教の展示が興味深かった。個人的には、動物の剥製と、服の展示・試着が好きです。いつも落ち着いた空間でゆったりと過ごせて、写真撮影もOKなのも嬉しいです。博物館の外観が少し殺風景に感じるので、もう少し、雰囲気と明るさがあつた方が良いのではと思います。企画展の、ギター・三味線・馬頭琴を実際に触れる試みは、とても素晴らしかったと思います。

1月23日	京都府	舞鶴市	50代	女性	<p>但東の歴史があった場所や古墳の場所などその地に来ているので「ここにそんな歴史があるのか…」と実感出来るようなものがあればもっと楽しめたと思います。</p> <p>よく訪れますので今後期待しています。</p> <p>モンゴルなどの海外の展示物は「こんな手の込んだ貴重なものが現地ではなく、なぜ日本にあるのか…」と少し思いました。</p> <p>細かな細工はどのように作ったのかとても興味があります。</p>
3月2日	京都府	京丹後市	40代	女性	<p>小学校で配られたチラシを見て、子どもたちと初めて来ました。馬頭琴の演奏会と楽器の体験を目当てに行ったのですが、衣装の試着ができたりのゲルの中に入って展示を見る事ができてとても楽しかったです。</p> <p>スーホの白い馬に出てくる馬頭琴の生演奏を聞いてとても感動しました。</p>
3月2日	京都府	福知山市	40代	男性	<p>小学生2年の娘と初めて行かせてもらいました。どの方も、丁寧に対応いただき、楽しく過ごせました。今回はイベントブースを回りましたが、次回はさらにゆっくりモンゴルの衣装を着るなど、モンゴル文化を学びたいです。また、モンゴルの料理教室など、普段からもいろんな企画をされていると聞きました。ホームページなどで調べて、また行かせていただきたいです。</p>
3月2日	兵庫県	養父市	10歳未満	男性	<p>モンゴル語を書いたうちわを学校で先生に見せたら、「すごい！」と言ってもらえて、うれしかったです。国語でスーホの白い馬をしているところなので、楽しかったです。</p> <p>(母から)</p> <p>スタッフの方がすぐに声をかけに来てくださり、子どもに対して丁寧に説明をしてくださったのが、とても嬉しく思いました。</p>

## 9 豊岡市立日本・モンゴル民族博物館の設置及び管理に関する条例

平成17年4月1日

条例第179号

(設置)

第1条 市民文化を振興し、文化活動の拠点とするとともに、モンゴル文化及び郷土の生活文化の紹介、体験交流等を通して魅力ある地域づくりを図るため、豊岡市立日本・モンゴル民族博物館（以下「博物館」という。）を設置する。

(位置)

第2条 博物館の位置は、豊岡市但東町中山711番地とする。

(事業)

第3条 博物館は、第1条に規定する目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 博物館の資料の収集、保管及び利用に関すること。
- (2) 博物館の資料に関する講演会、講習会、映写会、研究会等の開催に関すること。
- (3) 博物館の施設の利用に関すること。
- (4) 博物館の資料の利用に関して必要な説明、助言及び指導をすること。
- (5) 博物館の資料に関する専門的及び技術的な調査研究に関すること。
- (6) 他の博物館等との相互協力に関すること。
- (7) 郷土の生活文化の紹介及び体験交流に関すること。
- (8) 前各号に掲げるもののほか、博物館の目的を達成するために必要な事業

2 市長は、博物館の施設を、前項の事業の実施に支障のない限りにおいて、その目的以外の目的のために使用させることができる。

(職員)

第4条 博物館に、館長その他職員を置く。

(観覧料)

第5条 博物館に展示している資料を観覧しようとする者は、別表第1に定める額の観覧料を納付しなければならない。

(特別観覧料)

第6条 博物館に展示し、又は保管している資料について学術研究等のために模写、模造、撮影等しようとする者は、市長の許可を受け、1点1回につき2,000円の範囲内で規則で定める額の特別観覧料を納めなければならない。

(使用の許可)

第7条 別表第2に掲げる施設を使用しようとする者は、市長の許可を受けなければならない。

2 市長は、前項の許可に博物館の管理上必要な条件を付し、又はこれを変更することができる。

(許可の基準)

第8条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、前条第1項の許可をしてはならない。

- (1) 博物館の施設の使用が公の秩序又は善良な風俗を害するおそれがあると認めるとき。
- (2) 博物館の施設の使用が博物館の建物、器

具、備品等（以下「建物等」という。）を汚損し、損傷し、又は滅失させるおそれがあると認めるとき。

(3) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団その他反社会的団体又はこれらの構成員が使用すると認めるとき。

(4) 前3号に掲げるもののほか、市長がその使用を不適當であると認めるとき。

2 市長は、博物館の管理上又は公益上支障があると認めるときは、前条第1項の許可をしないことができる。

(使用権の譲渡等の禁止)

第9条 第7条第1項の規定により施設の使用の許可を受けた者（以下「使用者」という。）

は、その権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

(許可の取消し等)

第10条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、許可を取り消し、又は施設の使用の制限をし、若しくは使用の停止を命ずることができる。

(1) 使用者がこの条例若しくはこの条例に基づく規則又はこれらに基づく指示に違反したとき。

(2) 使用者が許可された使用目的以外の目的に施設を使用したとき。

(3) 使用者が許可に付した条件に違反したとき。

(4) 使用者が詐欺その他不正の行為により許可を受けたとき。

(5) 第8条第1項各号のいずれかに該当するに至ったとき。

2 市長は、博物館の管理上又は公益上やむを得ない必要が生じたときは、使用者に対し、前項に規定する処分をすることができる。

(使用料の徴収)

第11条 市長は、第7条第1項の許可を受けてする施設の使用につき、使用者から、別表第2に定める使用料を徴収する。

(観覧料等の減免)

第12条 市長は、公益上特に必要があると認めるときは、申請により、観覧料、特別観覧料及び使用料（以下「観覧料等」という。）を減額し、又は免除することができる。

(観覧料等の不還付)

第13条 既に納めた観覧料等は、還付しない。ただし、第10条第2項の規定により市長が博物館の管理上又は公益上やむを得ない必要が生じたとして同条第1項に規定する処分をしたとき、その他市長が特別の理由があると認めるときは、申請により、その全部又は一部を還付することができる。

(入館の制限等)  
 第14条 市長は、次の各号のいずれかに該当する者に対し、博物館への入館を拒絶し、又は博物館からの退館を命ずることができる。  
 (1) 公の秩序又は善良な風俗を害するおそれがある者  
 (2) 他人に危害を及ぼし、又は他人の迷惑になるおそれがある物品若しくは動物の類を携帯する者  
 (3) 建物等を汚損し、損傷し、又は滅失させるおそれがある者  
 (4) 前3号に掲げるもののほか、博物館の管理上必要な指示に従わない者  
 (行為の禁止)

第15条 何人も、博物館内において、博物館の管理上支障がある行為をしてはならない。  
 (原状回復の義務)

第16条 使用者は、博物館の施設の使用を終了したとき、又は第7条第1項の許可を取り消されたときは、直ちに施設を原状に回復しなければならない。

2 市長は、使用者が前項の義務を履行しないときは、その原状回復に必要な措置を採るべきことを命ずることができる。  
 (損害の賠償等)

第17条 博物館の建物等を汚損し、損傷し、又は滅失させた者は、これを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長は、特別の事情があると認めるときは、その賠償額を減額し、又はこれを免除することができる。  
 (委任)

第18条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則  
 (施行期日)  
 1 この条例は、公布の日から施行する。  
 (経過措置)  
 2 この条例の施行の日の前日までに、合併前の

日本・モンゴル民族博物館の設置及び管理運営に関する条例(平成8年但東町条例第21号)の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、この条例の相当規定によりなされたものとみなす。

(観覧料の特例)  
 3 第5条の規定は、平成17年4月1日から平成18年3月31日までの間においては、合併前の出石郡但東町の区域に居住する者が博物館を観覧するときは、適用しない。

附 則(平成19年12月26日条例第66号)  
 (施行期日)

1 この条例は、平成20年4月1日から施行する。  
 (経過措置)  
 2 この条例による改正後の日本・モンゴル民族博物館の設置及び管理に関する条例別表第2の規定は、この条例の施行の日以後に使用許可を受ける者の使用料について適用し、同日前に使用許可を受けている者の使用料については、なお従前の例による。

附 則(平成26年3月28日条例第8号)  
 抄  
 (施行期日)

1 この条例は、平成26年4月1日から施行する。  
 附 則(平成27年3月27日条例第14号)  
 この条例は、平成27年4月1日から施行する。

附 則(令和元年12月25日条例第26号)  
 (施行期日)

1 この条例は、令和2年4月1日から施行する。  
 (経過措置)  
 2 この条例による改正後の豊岡市立日本・モンゴル民族博物館の設置及び管理に関する条例の規定は、この条例の施行の日以後に許可を受ける使用について適用し、同日前に許可を受けている使用については、なお従前の例による。

別表第1(第5条関係)

区分	観覧料(1人1回につき)		備考
	個人	20人以上の団体	
一般	500円	400円	「一般」とは学生、中学生又は小学生以外の者で、15歳以上のものをいい、「学生」とは大学、高等学校及びこれらに準ずる学校の学生及び生徒をいう。
学生	300円	240円	
小学生中学生	250円	200円	

別表第2(第7条、第11条関係)

区分	使用料		
	午前9時から午後零時まで	午後1時から午後5時まで	午後6時から午後10時まで
企画展示室	1,600円	2,100円	
体験交流室	1,300円	1,700円	1,700円
天幕住居(ゲル)	1基につき5,300円		
備考	冷暖房を使用する場合は、この表に規定するそれぞれの額の3割に相当する額を加算する。		

## 10 施設概要

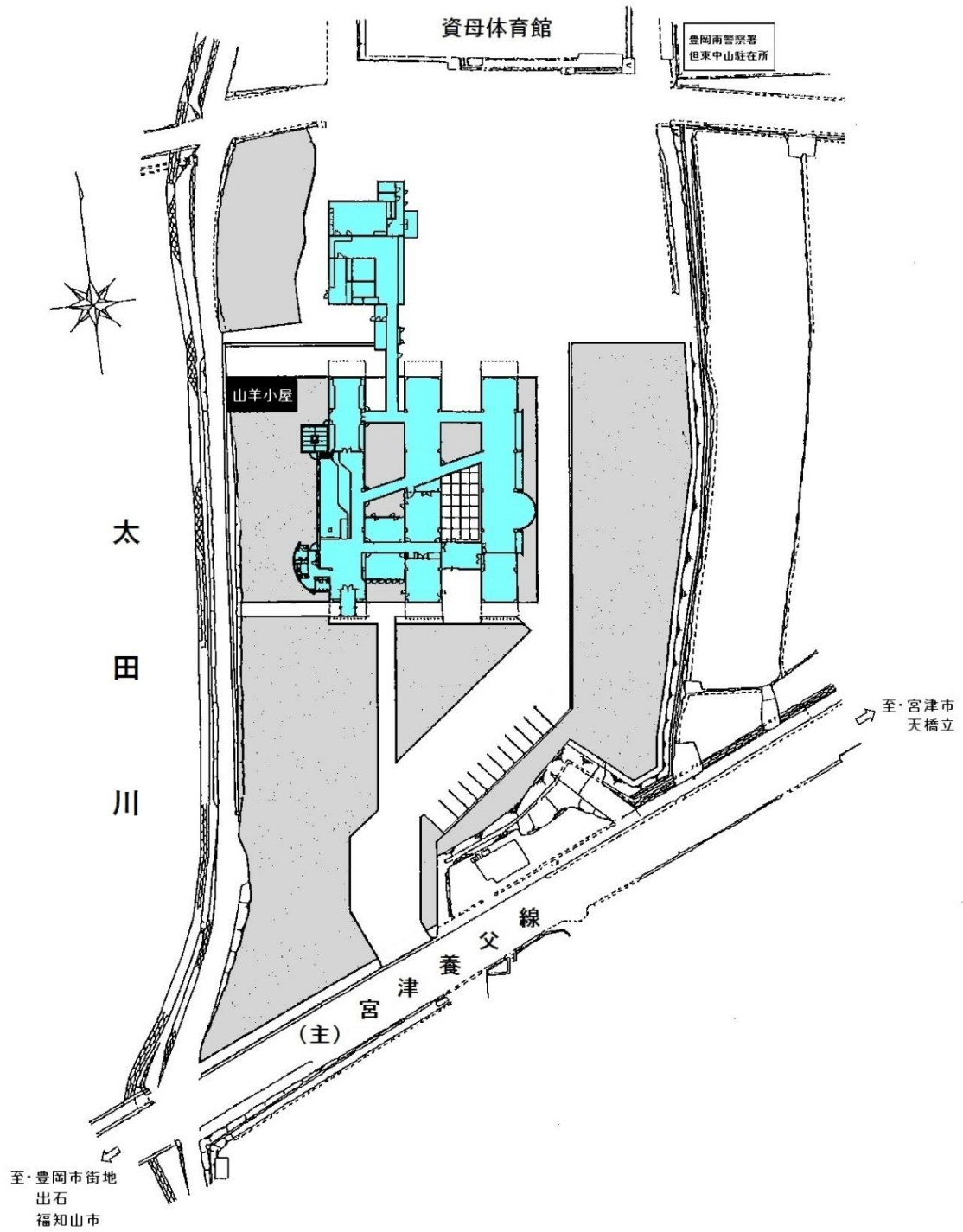
### (1) 本館建設概要

ア	位置	兵庫県豊岡市但東町中山 711
イ	基本設計	建物 井上良一建築設計事務所 展示 株式会社さんよう
ウ	実施設計	建物 井上良一建築設計事務所 展示 株式会社さんよう
エ	工事施工	建物 川嶋・井田・マルテン特別共同企業体 展示 株式会社さんよう
オ	工期	建物 着工 平成 7 年 12 月 14 日 竣工 平成 8 年 8 月 12 日 展示 着工 平成 8 年 5 月 7 日 竣工 平成 8 年 10 月 30 日
カ	敷地面積	10,402.84 m <sup>2</sup>
キ	建築面積	999.65 m <sup>2</sup>
ク	構造概要	鉄筋コンクリート造 フッ素樹脂塗装鋼板瓦棒葺 立体トラス鉄骨(KTトラス)
ケ	各室面積	玄関ホール・たんとうの森:211.6 m <sup>2</sup> 、 収蔵庫 1:54.6 m <sup>2</sup> 、収蔵 2:56.5 m <sup>2</sup> 、 荷解室:33.3 m <sup>2</sup> 、応接室:28.0 m <sup>2</sup> 、 事務室:33.3 m <sup>2</sup> 、資料整理室:48.2 m <sup>2</sup> 、 展示室「アジアの歴史と風土」:75.5 m <sup>2</sup> 、 展示室「モンゴル草原の暮らしと文化」:206.8 m <sup>2</sup> 、 展示室「モンゴル草原のいのり」:37.7 m <sup>2</sup> 、 企画展示室:74.4 m <sup>2</sup> 、シルクロード回廊 1:13.3 m <sup>2</sup> 、 シルクロード回廊 2:13.3 m <sup>2</sup> 、 シルクロード回廊 3:12.6 m <sup>2</sup> 、 シルクロード回廊 4:12.6 m <sup>2</sup>
コ	建物規模	平屋建て:東西 41.8 m <sup>2</sup> 、南北 42.5 m <sup>2</sup> 、 地上高 9.0m
サ	仕上げ	<外装> 複層吹付 <内装> 床:モルタル下地タイルカーペット貼 壁:山本窯業化学テラックス、石膏ボード、化粧合板 天井:杉小幅板、岩綿吸音板貼

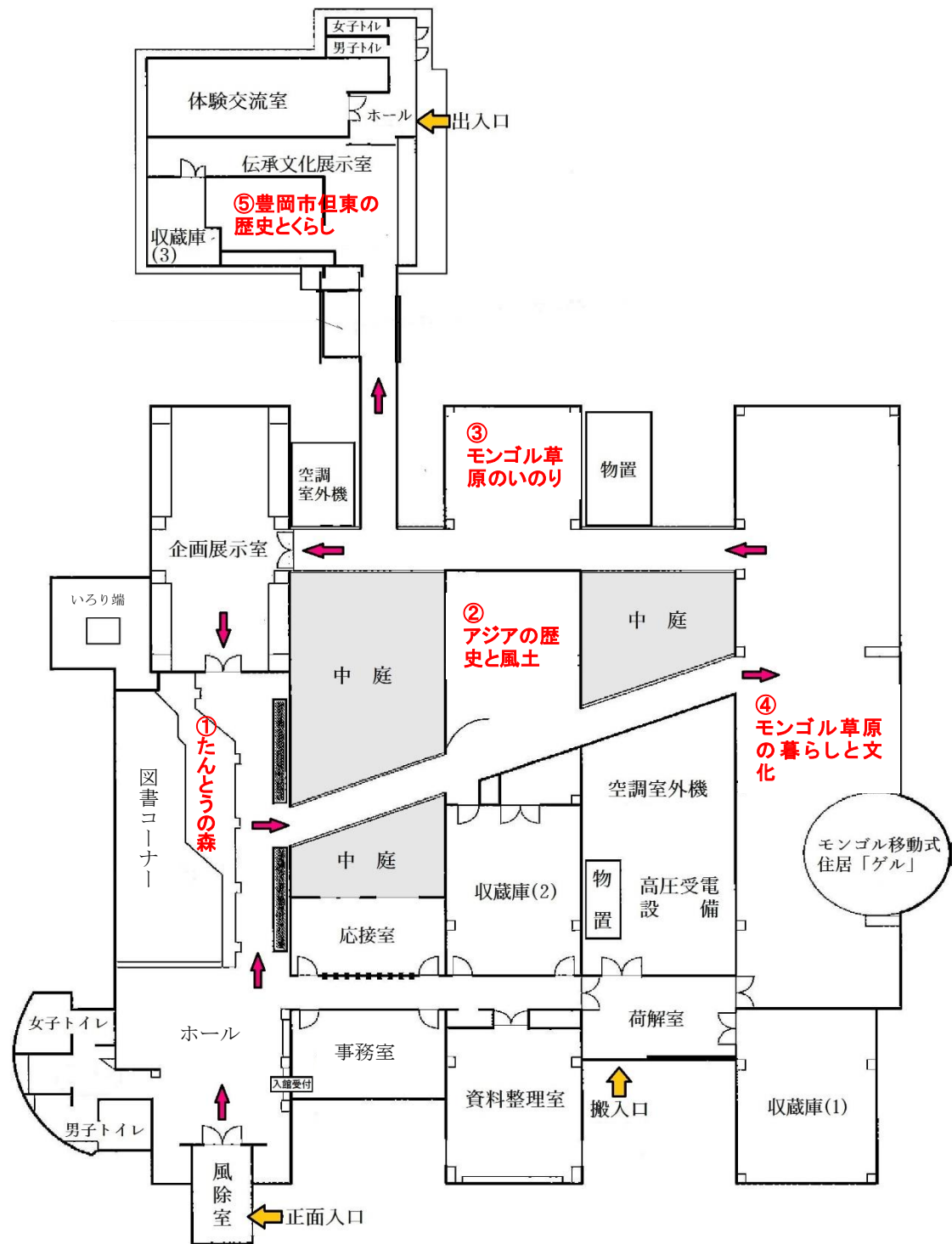
### (2) 伝承文化体験交流館建設概要

ア	位置	兵庫県豊岡市但東町中山 711
イ	基本設計	建物・展示 井上良一建築設計事務所
ウ	実施設計	建物・展示 井上良一建築設計事務所
エ	工事施工	建物 株式会社マルテン 展示 株式会社ナギサ建築工芸
オ	工期	建物・展示 着工 平成 11 年 9 月 14 日 竣工 平成 12 年 3 月 29 日
カ	建築面積	371.57 m <sup>2</sup>
キ	構造概要	木造一部鉄筋コンクリート造瓦葺
ク	各室面積	体験交流室:62.6 m <sup>2</sup> 、展示室「豊岡市但東の暮らしと文化」:112.5 m <sup>2</sup> 、 収蔵庫:27.2 m <sup>2</sup> 、シルクロード回廊 5:36.4
ケ	建物規模	平屋建て:東西 12.8 m <sup>2</sup> 、南北 21.2 m <sup>2</sup> 、 地上高 7.1m
コ	仕上げ	<外装> 押出形成セメント板 <内装> 床:モルタル下地タイルカーペット貼 壁:ビニルクロス貼、一部杉板貼 天井:化粧PB貼、一部杉板貼

(3) 配置図



(4) 館内図



## 11 交通案内



豊岡駅からバスで約 60 分 出石で乗り換え(奥藤行き)

モンゴル博物館前下車

### ■お車で

大阪・神戸方面…舞鶴若狭自動車道 福知山 IC から約 55 分

京都方面…京都縦貫自動車道～宮津与謝道路 与謝天橋立 IC から約 25 分

姫路方面…播但連絡道路～北近畿豊岡自動車道 八鹿水ノ山 IC から約 45 分

## 12 利用案内

■開館時間 9時30分～17時(入館は16時30分まで)

■休館日 水曜日(水曜日が祝日の場合は翌日)

年末年始(12月28日～1月4日)

展示替えのため臨時休館あり

■入館料 一般 500円(400円)

高校・大学生 300円(240円)

小・中学生 250円(200円)

※( )内は20名以上の団体の場合

※障がい者手帳をお持ちの方は各料金の半額

※兵庫県内の小・中学生は、ココロンカードの提示により無料

**豊岡市立日本・モンゴル民族博物館年報第 26 号**

Annual Report of the Japan Mongolia Folk Museum  
No.26(for the fiscal years of 2024)

2025 年 3 月 31 日発行

編集・発行 豊岡市立日本・モンゴル民族博物館

〒668-0345 兵庫県豊岡市但東町中山 711

TEL 0796-56-1000 FAX 0796-56-1022

<http://www3.city.toyooka.lg.jp/monpaku/index.html>

e-mail [monpaku@city.toyooka.lg.jp](mailto:monpaku@city.toyooka.lg.jp)